

単元名 ちいきのきせつをかんじよう

単元の目標

- 学校周辺の自然に触れて四季を感じたり、植物を栽培したり、虫を採集して育てたりすることを通して、その楽しさ、よさに気付くことができる。【社会参画に関する資質能力】
- 身近な人と関わりあいながら工夫したり協力したりして、自然体験活動をすることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 様々な自然栽培活動(植物の栽培、虫の飼育など)について関心を持ち、進んで関わろうとする。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準
A ◎地域理解		【地理】 ・学校周辺の自然に触れて四季を感じたり、植物を栽培したり、虫を採集して育てたりすることを通して、その楽しさ、よさに気付くことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】 ・「楽しい」や「季節を感じるもの」をたくさん見つけたいという気持ちを持ち、話し合いながら活動の計画を立てることができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】 ・様々な自然体験活動をすることから、「楽しい」や「季節を感じるもの」を見つけ、その理由を考えることができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】 ・様々な体験活動の中で見つけた「楽しい」や「季節を感じるもの」について、絵や言葉などで表すことができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】 ・地域の自然に興味・関心を持ち、自然のもの・ことに積極的に関わることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】 ・体験活動の中で困ったことがあっても、周りの人に相談したり助け合ったりしながら、最後までやり遂げることができる。
C 関人する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】 ・自分の思ったことを伝えたり、友達の思ったことを聞いたりすることができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】 ・身近な人々と交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。
	3 ★他者受容	【★受】 ・友達と楽しく活動を積み重ねることで、友達の考えを知ることができる。
D 関自律的資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】 ・自然体験活動を通して学んだことを、今後の生活に生かそうすることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】 ・自然体験活動で出会ったひと・もの・ことに触れて、面白さ、楽しさ、よさを感じ、さらに関わり合おうとする。
	3 ★自己肯定感	【★肯】 ・植物が成長することの喜びや世話を続けることの楽しさを感じたり、生き物への親しみが増した自分や友だちの良さに気づき、前向きに過ごそうとする気持ちをもつことができる。

単元の指導

(全 20 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と関連する教科・領域	働かせたい資質・能力			
					A	B	C	D
情報収集 実施・改善	8	1	はなやさいをそだてよう②	○野菜の観察・お世話をする。		好		
情報収集 実施・改善		2		○育てた植物の花や葉を使って、色水作りをしたり、たたきぞめをしたり、形写しをしたりする。 【図工】うつつかたちから		好		
情報収集		1		○あさがおの実(種)の観察をし、気付いたことを話し合いカードに記録する。		提	伝	
情報収集	9	1	はなやさいをそだてよう②	○あさがおの種を採り、種の観察をする。		好		
振り返り まとめ		1		○これまでの植物の成長のしかたを、カードを見ながら振り返り、まとめる。		多	伝	
実施・改善	10	1	はなやさいをそだてよう②	○あさがおの種の使い方について話し合う。(年長児へのプレゼントの準備をする。)			受	
実施・改善		2		○あさがおのつるでリースを作ることを知り、つるを輪の形に成形する。		好		
実施・改善	9	1	虫となかよし	○植木鉢や花壇の片づけをする。			協	
見直しをもつ 計画する		1		○虫探しの経験を話し合い、虫のいそうな場所(校庭、中庭、広場)について想起する。		見		
情報収集 実施・改善		1		○校庭にいる虫などの生き物に関心をもち、それらを観察したり、捕まえたりする。		好解	協	
情報収集 実施・改善		1		○捕まえた虫の飼育の仕方を調べ、飼育環境を整える。 【道徳】生命の尊さ「ハムスターの赤ちゃん」		多		
情報収集 実施・改善		1		○身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。 【道徳】自然愛護「ぼくのしろくま」				感
情報収集 実施・改善		1		○学校の周り(公園など)の虫などの生き物に関心をもち、それらを観察したり、捕まえたりする。 (「たのしいな、あきのすみ」と合わせて)		好解	協	
振り返り まとめ		1		○捕まえた虫のお世話をし、気付いた事をカードに記録する。		提	伝	
見直しをもつ 計画する	1	1	ふゆをたのしもう	○冬になり、学校の校庭や周り(家の周りや通学路)の様子がどのように変わったか、どんな冬があるか想起する。(生き物、植物)		見		
情報収集 実施・改善		2		○校庭で、冬の動植物の観察をしたり、霜柱や氷、雪など、特に冬に特有の自然をさがしたりする。 ○雪合戦や雪だるま作り、カラフルブロック作りなどの簡単な遊びを楽しむことができる。		好		
振り返り まとめ		1		○見つけた冬を紹介し合い、気付いたことや楽しかったことを発表し、カードに記録する。 【国語】かたかなをかこう		提	伝	

単元名 たのしいな あきのすみた

単元の目標

- 地域の自然の楽しさやよさに気づき、絵や言葉であらわすことができる。【社会参画に関する資質能力】
- 友達と協働して活動し、友達や地域の人たちと楽しく関わることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 地域の自然に関心を持ち、進んで体験活動に取り組むことができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・学校周辺や種山の自然に触れたり、地域の人と交流したりして、その楽しさ、よさに気付くことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・様々な体験活動の中から「楽しい」をたくさん見つけたいという気持ちを持ち、話し合いながら活動の計画を立てることができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・様々な体験活動の中で、自分なりの「楽しい」を見つけ、その理由を考えることができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・様々な体験活動の中で見つけた「楽しい」について、絵や言葉などで表すことができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・様々な体験活動に興味・関心を持ち、積極的に関わることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・体験活動の中で困ったことがあっても、周りの人に相談したり助け合ったりしながら、最後までやり遂げることができる。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の思ったことを伝えたり、友達の思ったことを聞いたりすることができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・身近な人々と交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・友達と楽しく活動を積み重ねることで、友達の考えを知り、助け合って活動することができる。
D 関自律的資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・地域の自然と自分の生活とのつながりに気付くことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えことをもとに、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分でできるようになったことが増えたことを喜び、前向きに過ごそうとする気持ちをもつことができる。

単元の指導

(全 22 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
課題設定	9	1	秋を見つけよう	○保育園でのこれまでの種山での自然体験をスライドを見ながら振り返り、これからの活動について話し合う。		見		
見通し計画を持つ		1		○種山での活動内容を知り、きまりや約束について2年からアドバイスをもらう。 ○2年生とのグループを作り、グループのめあてなどを話し合って確かめる。		見	伝	
実施・改善 情報収集		5		○種山で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物の観察をしたり、木の実などを集めたり、ネイチャーゲームを楽しんだりする。		好	協	
振り返り まとめ		3		○種山で体験したことを紹介し合い、楽しかったことや気づいたことを発表して、カードに記録したり、お世話になった人(高校生や森の案内人さん)に、お礼の手紙を書いたりする。 【国語】なつやすみのことをはなそう	地理	提		
実施・改善 情報収集		2		○学校の周りで、秋の草花や樹木、虫などの動植物の観察をしたり、木の葉や実などを集めたりする。 (上有住城跡公園、ふれあい広場)		好	協	
振り返り まとめ	1	○学校の周りで見つけた秋や、楽しかったこと、気づいたことを発表して、カードに記録する。 【国語】しらせたいな みせたいな まちがいをなおそう かん字のはなし		提	伝			
振り返り まとめ	1	○秋探しの活動を思い出しながら、自分の住んでいる町や、日本の伝統や文化に親しみ、大切にしようとする心情を育てる。 【道徳】伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度「にちようびのさんぼみち」	地理					
実施・改善 情報収集	10	3	秋のおもちゃで楽しもう	○拾ってきた木の実などで、あさがおりーすに飾りをつけたり、おもちゃなど作ってみたいものを考え、制作する。		好	創	
実施・改善 情報収集		1		○みんなでおもちゃ遊びをする。		好	肯	
見通し計画を持つ		2		○地域の人(年長児やお年寄り)と、一緒に遊ぶ計画や準備をする。 (有住保育園、よりあいカフェ)		見	他	
実施・改善 情報収集		1		○地域の人(年長児やお年寄り)と、作ったおもちゃで一緒に遊んで交流する。 (有住保育園、よりあいカフェ)	地理		他	
振り返り まとめ		1		○楽しかったことをカードに記録してこれまでの活動を振り返り、住田の「楽しい」について確かめる。	地理	提		

単元名 できるようになったよ

単元の目標

- 友達の考えを、自分の考えと比較しながら考え、よりよい発表を作り上げようとする事ができる。【社会参画に関する資質能力】
- 新しい1年生に伝えたいことがよく伝わるように話したり、友達の考えを聞いたりしながら、友達と協力して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 1年間の活動を振り返り、自分の成長を感じ取る事ができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準
A ◎地域理解		【地理】 ・1年間の活動を振り返り、地域のひと・もの・ことの楽しさ、よさに気付くことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】 ・新しい1年生のためにできることについて話し合いながら、活動の計画を立てることができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】 ・1年間で見つけた「楽しい」について振り返り、その理由を考えることができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】 ・1年間の活動を振り返り、新しい1年生に伝えたいことについて、絵や言葉で表すことができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】 ・新しい1年生を迎えることに関心を持ち、積極的に関わることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】 ・活動の中で困ったことがあっても、周りの人に相談したり助け合ったりしながら、最後までやり遂げることができる。
C 関人 間 資 質 形 成 能 力 に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】 ・伝えたいことを相手によくわかるように話したり、友達の思ったことを聞いたりすることができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】 ・友達と交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。
	3 ★他者受容	【★受】 ・新しい1年生のことを考えながら活動をし、交流することができる。
D 関 自 律 的 活 動 に 関 する 資 質 能 力	1 ☆感じ取る力	【☆感】 ・自分たちの成長やこれからの成長について素直に表現しようとする。
	2 ☆創出する力	【☆創】 ・感じたことや考えたことをもとに、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】 ・自分自身の成長や役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと進級への期待感や意欲をもつことができる。

単元の指導

(全 14 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
見 通 計 画 を 持 つ	1	2	あ た ら し い 一 年 生 を む か え よ う	○新しい1年生がもうすぐ入学してくることから、年長児さんとの交流会を行うことを知る。 ○教えたいことや一緒にしたいことを話し合い、計画を立てる。【道徳】よりよい学校生活と集団生活の充実 「もうすぐ2年生」		見		
実 施 ・ 改 善		3		○年長児に楽しんでもらえるように考えながら、交流会の準備をする。(発表の準備、プレゼント作り) 【国語】てがみでしらせよう これはなんでしょう			他	
実 施 ・ 改 善	2	1	で き る よ う に な っ た よ	○年長児によく伝わるようにするにはどうしたらよいか考えながら、交流会のリハーサルをする。 【国語】てんとうむし			伝	
実 施 ・ 改 善		1		○年長児と交流会を行う。			協 他	
振 り 返 り ま と め		2		○交流会でがんばったことやできたことについて振り返り、カードに記録する。		提	肯	
見 通 計 画 を 持 つ	3	2	ま と め	○小学校での1年間を振り返り、出来るようになったことを話し合い、お世話になった人たちへの感謝の気持ちを表す。 ○新しい1年生のために、自分たちができることを話し合い、計画を立てる。 【道徳】感謝「みんなだれかに」 【国語】いいこといっぱい1年生		見		
実 施 ・ 改 善		2		○新しい1年生のために、1年間の出来事を絵や文で表すなどして、教室を装飾する準備をする。 【図工】チョキチョキかざり			創	
実 施 ・ 改 善	3	1	ま と め	○教室をきれいにし、新しい1年生を迎え入れる準備をする。			他	
振 り 返 り ま と め		1		○地域の楽しさ・よさを確かめたり、自分の成長(ついた力)について振り返ったりしながら、1年間の学習のまとめをする。			肯	

単元名 I love Sumita. だいすきすみた

単元の目標

- 身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 身近な人々との交流を楽しみながら、相手にも思いや考えがあることに気づき、仲良く活動することの楽しさや助け合うことの大切さを感じ取ることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 自分の感性や気持ちを表すことを楽しんだり、日本語と英語での表現を通して対象との関係を作り上げて楽しんだりすることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・IETとの関わりを通して、自分たちの住んでいる場所のよさとして受け止めることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わろうとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人す間る関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・地域の出来事や自分の生活等について、身近な人々と思いや考えを伝え合い、関わることの楽しさが分かり、進んで交流することができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	
	3 ★他者受容	【★受】	・身近な人々と一緒に活動する経験を積み重ねることにより、相手にも思いや考えがあることに気づき、仲良く活動することの楽しさや助け合うことの大切さを感じ取っている。
D 関自律的資質形成力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
	2 ☆創出する力	【☆創】	・自分の感性や気持ちを表すことを楽しんだり、日本語と英語での表現を通して対象との関係を作り上げて楽しんだりすることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	

単元の指導

(全 10 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
見直しを持つ	5	1	みんなとあいさつ	○保育園での活動を振りかえり、「地域創造学」で学ぶことを確認する。 ○IETのマーク先生と一緒に住田と外国のよいところを探していくことを確認する。 ○たくさんの人とコミュニケーションを図るためのあいさつを学ぶ。	地理		☆伝	
実施	6	2	住田の色	The Colors of Sumita 住田の色 ○住田にあるものの色にはどんなものがあるか、日本語と英語の両方で考える。		★好		
	7・8	2	アルファベット	○住田の中にあるものと、アルファベットを用いた言葉の関わりについて気付く。		★好		
	9	2	住田とカナダの比較	○IETの先生の出身国であるカナダと住田町の生活を比較し、文化の違いについて気付く。 ○IETと一緒にカナダのお菓子作りを体験し、外国の文化について理解を深めると共に、国の文化には違いのあることを楽しみながら感じる。		★好	★受	
	11・12	2	住田に関連する数	○IETの先生と一緒に住田に関わる数字に英語も交えて親しむことを通して、住田の特徴に興味関心を持つ。		★好		
振り返り・まとめ	2	1	1年間の振り返り	○1年間IETや友達と単元を通じて学んだことを振り返り、自分のことばで発表する。 ○IETの先生と一緒に1年間の成長を喜ぶ会を開く。 (保育園年長時もお楽しみ会でIETに感謝のことばを英語、日本語で伝える活動行っている)	↓			☆創

単元名

単元の目標

○1年生で学習した住田(世田米・有住)の「楽しいな」を想起し、2年生では、住田の「いいな」を見つけていくことを確認し、教師と一緒に1年間の計画を立てることができる。【社会参画に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・1年生で学習した住田(世田米・有住)の「楽しいな」を想起し、2年生では、住田の「いいな」を見つけていくことを確認し、教師と一緒に1年間の計画を立てることができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・
C 関人関る関係形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・
	2 ☆協働する力	【☆協】	・
	3 ★他者受容	【★受】	・
D 関自律的活動に力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・
	2 ☆創出する力	【☆創】	・
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・

単元名 2年生になったよ

単元の目標

- 家族が自分たちのために家庭内で仕事をしていてくれていることやその気持ちに気づき、自分にもできることをやろうとする。【社会参画に関する資質能力】
- 先輩として1年生に気を遣いながら校舎を案内したり世話をしたることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 家族や1年生のために自分の役割を果たしたことに自信をもち、これからも続けようとする。【自立的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・校舎内を1年生に説明しながら案内することによって、自分の学校の建物や校舎内にいる人のよさに改めて気づくことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習についておおまかな見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・友達の実践と自分の実践を比べたり、友達の実践を参考にして、自分のお手伝いに生かそうとしている。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・自分のお手伝いの工夫ややってみての気持ちがよくわかるように絵や文で表現することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・自分も新たな発見ができるように興味・関心をもって学校探検をすることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・お手伝いが難しい状況であっても、家族のために時間や内容を工夫して、決めた期間いっぱい、お手伝いをやり遂げることができる。
C 関人関関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・1年生に伝わるように分かりやすく話したり見せたりし、1年生の話も分かるように聞くことができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・友達と協力して知恵を出し合い、1年生が楽しく学校探検ができる方法を考えることができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・1年生の気持ちを考えなが、優しくわかりやすく説明したり案内したりしようすることができる。
D 自立的活動能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・低学年の仲間として、1年生と協力して仲良く楽しく過ごしていこうという気持ちを持つことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・学校施設や学校内の人について自分なりの方法で表現し伝えようとする。ことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・先輩として、家族の一員として仕事をやり遂げることができた自分を認め、自信を持つことができる。

単元名 いいな わたしのまち①

単元の目標

- 施設や人に興味関心を持ち、積極的によさについて調べようとしている。【社会参画に関する資質能力】
- 地図を使って、昨年度同じ学習をした3年生にも更に施設のよさを知ってもらえるように工夫して伝えようとし、アドバイスや感想を参考にしようとしながら聞くことができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 学習したことをこれからの生活に生かそうとすることができる。(施設利用のマナーなど)【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・自分たちの住んでいる住田(世田米・有住)にいろいろな施設がある事を知り、そのよさを理解することができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習について大まかな見通しを持ち、計画を立てることができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・3年生からのアドバイスをもとに、町や地図の味方について自分たちが考えた以外にも様々な見方や考え方があることに気づき、今後に生かそうとする。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	まちのよさが伝わるように地図にまとめることができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・施設や人に興味関心を持ち、積極的によさについて調べようとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・活動がうまくいかない時も、原因を考え改善して最後までやり遂げようとする。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・地図を使って、昨年度同じ学習をした3年生にも更に施設のよさを知ってもらえるように工夫して伝えようとし、アドバイスや感想を参考にしようとしながら聞くことができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・友だちと協力しながら活動に取り組むことができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・探検先の相手や友だちの思いに気づき、その思いを大切にすることができる。
D 自律的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習したことをこれからの生活に生かそうとすることができる。(施設利用のマナーなど)
	2 ☆創出する力	【☆創】	・学んだことを分かりやすい方法で地図に表し、伝えようとするすることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分たちでできるようになったこと(地図をつくる。取材したことをまとめる。など)を喜び、これからの学習に生かそうとする気持ちをもっている。

単元名 2年生になったよ②～種山のいいなを教えよう～

単元の目標

○わかりやすい言葉を使ったり写真や昨年度の資料を使ったりするなど、よくわかる方法を自分なりに工夫して種山について1年生に教えることができる。【社会参画に関する資質能力】

○同じグループの1年生の様子に気を付けながら一緒に行動し、その気持ちを考えながら話したり行動したりすることができる。【人間関係形成に関する資質能力】

○先輩として1年生に教えたり、一緒に行動してあげることができたことで成長した自分に自信をもつことができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準
A ◎地域理解	【地理】	・体験を通して種山の素晴らしさを感じるとともに、1年時の経験をもとに、そのよさを積極的に1年生に伝えようとする事ができる。
	【☆見】	・学習についておおまかな見通しをもち、計画をたてて取り組むことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆多】
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】
	4 ★好奇心・探究心	【★好】
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】
C 関人関資形成力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】
	2 ☆協働する力	【☆協】
	3 ★他者受容	【★受】
D 関自律的資活動能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】
	2 ☆創出する力	【☆創】
	3 ★自己肯定感	【★肯】

単元の指導

(全 29 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
問題の理解・把握・現	8・9	1	もっと知りたいすみのまち①	○1学期の探検地図から、次に探検するところを決め、見直しを持つ。(世小) ○1年時の川学習を想起し、活動への意欲と見直しを持つ。(有小)		☆見		
実施・改善		3		○酪農農家を見学し、「いいね」を見つける。(世小) ○気仙川に入ったり、気仙川でとれた魚を食べるなど、川学習で川の楽しさ、川の恵みを堪能する。(有小) ○ゲストティーチャーから気仙川について学ぶ。(有小)	地理	☆多		
振り返り		2		○調べて「いいね」をまとめて、地図を使ってグループごとにまとめる。(世小) ○実際に体験した気仙川の様子、川についての注意点など知ってほしいことを地図を使ってグループごとにまとめる。(有小)		☆提		
課題設定	9・11	1	もっと知りたいすみのまち②	○1学期に見学した「まちや」の周りに目を向け、世田米商店街にはどんなお店があるか出し合う。(世小) ○種山学習を想起し、町の森林に目を向け、どんなところがあるか出し合う。(有小)		★好		
見直しを持つ		2		○行き先と約束、おおまかな内容、準備物等を決める。		☆見		
実施・報告・改善・情報		3		○商店街にはどんなお店があるか調べる。(世小) ○鏡岩せせらぎ公園に行き、ゲストティーチャーに質問しながら森林について学ぶ。(有小) ○ハンモック等の体験活動を通して森林の楽しさ・素晴らしさ感じ取る。(有小)	地理	★好		
振り返り		4		○調べたお店を地図にまとめる。(世小) ○お店の見つけた「いいね」を地図にまとめる。(世小) ○森林体験活動で発見したこと、感じたこと、分かったことを出し合い、短冊に記入する。(有小) ○グループごとに家族や全校のみんなに伝わりやすいように写真・絵を入れる、一文を短くする、書く順番に気をつけるなど工夫して記事をまとめる。(有小) ○まとめた記事を地図に貼り、せせらぎ公園部分を完成させる。(有小)			☆協	☆創
課題設定		1		○もっと詳しく調べたいお店を選び、調べたいことを出し合う。(世小) ○これまでの学習を振り返り、身の回りから木に関するものを見つけ、住田町は森林日本一をめざしている町であることを知り、学びたいことを出し合う。(有小)		☆好		
実施・改善		1		○グループ毎に見学、取材する計画を立てる。(世小) ○「まち」と「森林」をむすびつける施設「木工館」での学習計画をたて、約束や質問内容を考える。(有小)		☆見		
実施・報告・改善・情報		3		○グループ毎にお店を見学取材する。(世小) ○木工館に行き、全体での体験活動、グループごとのインタビューや写真撮影等を含む見学活動を行う。(有小)			☆協	
振り返り	3	○お店の見つけた「いいね」をグループ毎にまとめる。(世小) ○木工館での学習内容をグループごとにまとめる。自分たちで撮ってきた写真を貼ったり、学んだことから今後自分がしていきたいことや呼びかけたいことも盛り込む。(有小)			☆協	☆感		
	4	○グループ毎に発表方法(劇、紙芝居、ポスター、クイズなど)を決め、見つけてきた「いいね」を友達に発表する。(先生方にアドバイスをもらう)(世小) ○グループごとに発表方法を決め、学んだことを発表する。(①グループごとに発表を見合いアドバイスしあう②アドバイスをもとに地域・家族へ向けての発表会を開く)(有小)		☆提	☆伝			
	1	○単元を振り返り、自己評価と感想をワークシートに記入し交流しあう。 【道徳 伝統と文化の尊重・国や郷土を愛する態度】	地理		★育			

単元名 いいな わたしたちのまち②

単元の目標

- 今までの学習をもとに、さらに自分たちの町について知り、自分たちの町のよさを感じ、表現することができる。【社会参画に関する資質能力】
- 学習に関する人との対話を通してその思いに気づくとともに、友達と協力して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 自分たちの町のよさを表現し伝えるとともに、学習したことをこれからの生活や学習に生かそうとすることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・町について知り、そのよさを感じ、積極的に関わることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習についておおまかな見通しをもち、計画をたてて取り組むことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・比べたり分類したり、疑問を持ったり、良いところを取り入れたりしながら活動に取り組むことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・町のよさや自分の思いがよりよく伝わるように表現方法を選んで発信することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・町について興味・関心を持ち、積極的に関わることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・活動がうまくいかないときにも、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の考えが伝わるように相手意識をもって話したり書いたりし、相手の話も分かろうとして聞いたり読んだりすることができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・友達と協力しながら活動に取り組むことができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・友達や関わった人の思いに気づき、大切にすることができる。
D 関自律的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習・体験したことをこれからの生活や学習に生かそうとすることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・町のよさを自分なりの方法で表現し、伝えようとするができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の頑張りやできるようになったことに気づき、認めることができる。

単元の目標

- できるようになったことがある事や、それはたくさんの方のおかげである事に気づき、感謝の気持ちを表現することができる。【社会参画に関する資質能力】
- 発表会の準備や練習を通して、より良い発表にするために友達の考えや思いを聞き入れながら、協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 感謝の気持ちを表現するとともに、できるようになったことをこれからの生活や学習に生かそうとすることができる。【自立的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準
A ◎地域理解		【地理】 ・第1ステージでの学習を通して、自分たちの住んでいる住田のよさを理解できる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】 ・地域の方や先生方のおかげでできるようになったことに気づき、感謝の会を開く計画を立てることができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】 ・自分たちについて力を発表するには、どのような発表方法だと招待した方に伝わるのかを考え、決定することができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】 ・できるようになったことが伝わるように、表現することができる。(紙芝居・劇・ペープサート・新聞など)
	4 ★好奇心・探究心	【★好】 ・友達の発表の改善点を見つけ、感謝の会をより良いものにしようとする態度で積極的に関わろうとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】 ・これまでの学習経験から、どのようにまとめ発表するのかを友達と話し合いながら、よりよい発表会にするために最後までやりとげようとしている。
C 関人す関関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】 ・感謝の会で、お世話になった地域の方や先生方に感謝の気持ちを伝えることができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】 ・グループの友達と発表の準備や練習をする中で、感謝の気持ちを伝えるにはどのようにすればよいのかを考えたり、工夫したりして、協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】 ・発表会の準備や練習を友達と行う中で、友達にも思いや考えがあることに気づき、仲よく活動することの楽しさや助け合うことの大切さを感じ取っている。
D 関自的資活動能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】 ・これまでの学習によって、できるようになったこと自分を見つめ、これからの自分の学びや活動をよりよいものにしようおすることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】 ・できるようになったことを表すことを楽しんだり、発表会を通して地域の方や先生方に感謝の気持ちを伝えることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】 ・自分でできるようになったことを喜び、前向きに過ごそうとする気持ちをもっている。

単元の指導

(全 21 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
振り返り		1		これまでの学習(第1ステージ)を振り返り、できるようになったことを考えよう。				☆感
見直しを持つ		2		大きくなったよ発表会の計画を立てよう。		☆見		
実施・改善		3		お世話になった人を招待しよう。 ・招待状を作ろう【国語 しかけカードの作り方】 ・感謝状をつくらう【書写 感謝状の書き方】				☆創
現状把握		1		発表することを決めよう。(できるようになったことの中から、一番ついた力を選ぶ) 【国語 みんなできめよう】		☆多		
見直しを持つ		2		グループを決めて、発表の計画を立てよう。 【国語 お話のさくしゃになろう】				☆協
実施・改善	1 5 2	4	大きくなったよ	発表の準備し、練習をしよう。				★受
		1	ありがとう	発表会を見合い、いいところやもっとよくしたいところを考えよう。 【国語 あったらしいな、こんなもの】		★好		
		2		友だちのアドバイスをもとに発表の仕上げをしよう。		★解		
		2		発表会のリハーサルをしよう。				☆協
		1		発表会をしよう。				☆伝
振り返り		2		1年間のまとめをしよう。 【国語 見たこと、かんじたこと】【国語 楽しかったよ、二年生】				★肯
		2 1						

単元名

Let's Cooperate With the People of the World せかいの人々ときょうりょくしよう

単元の目標

- 身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 身近な人々との交流を楽しみながら、相手にも思いや考えがあることに気づき、仲良く活動することの楽しさや助け合うことの大切さを感じ取ることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 自分の感性や気持ちを表すことを楽しんだり、日本語と英語での表現を通して対象との関係を作り上げて楽しんだりすることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準
A ◎地域理解		【地理】 ・IETとの関わりを通して、自分たちの住んでいる場所のよさとして受け止めることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】
	4 ★好奇心・探究心	【★好】 ・身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わろうとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】
C 関人す間る関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】 ・地域の出来事や自分の生活等について、身近な人々と思いや考えを伝え合い、関わることの楽しさが分かり、進んで交流することができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】
	3 ★他者受容	【★受】 ・身近な人々と一緒に活動する経験を積み重ねることにより、相手にも思いや考えがあることに気づき、仲良く活動することの楽しさや助け合うことの大切さを感じ取っている。
D 関自律的資質形成力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】
	2 ☆創出する力	【☆創】 ・自分の感性や気持ちを表すことを楽しんだり、日本語と英語での表現を通して対象との関係を作り上げて楽しんだりすることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】

単元の指導

(全 10 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
見直しを持つ	5	1	みんなとあいさつ	○1年生での活動を振りかえり、「地域創造学」で学ぶことを確認する。 ○IETのマーク先生と一緒に住田と外国のよいところを探していくことを確認する。 ○たくさんの人とコミュニケーションを図るためのあいさつを学ぶ。	地理		☆伝	
実施	6	2	住田の色	Where does Sumita's fruit come from? 住田町の果物は世界のどこから来ましたか。 ○住田での見られる果物にはどんなものがあるか、日本語と英語の両方で考える。 ○外国から輸入される果物の生産地を通して、世界の国に親しむ。		★好		
	7・8	2	アルファベット	○住田の中にあるものと、アルファベットを用いた言葉の関わりについて気付く。		★好		
	9	2	住田とカナダの比較	Maple Syrup メープルシロップ ○IETの先生の出身国であるカナダと住田町の生活を比較し、文化の違いについて気付く。 ○IETと一緒に住田とカナダ両方にある植物から生産するシロップのことで学び、文化についての共通点や差異について理解を深める。 ○国の文化には違いのあることを活動を楽しみながら感じる。		★好	★受	
	11・12	2	住田に関連する動物	Domestic Animals 家で飼う動物 ○IETの先生と一緒に住田でも見られる動物について、英語も交えて親しむことを通して、住田の特徴に興味関心を持つ。		★好		
振り返り・	2	1	1年間の振り返り	○1年間IETや友達と単元を通じて学んだことを振り返り、自分のことばで発表する。 ○IETの先生と一緒に1年間の成長を喜び会を開く。	↓			☆創

単元名 「すごいな 住田のいいところ」計画づくり

単元の目標

- 自分が住む地区から地域全体に広げて、観光名所や伝統芸能について学習するという見通しをもつことができる。【社会参画に関する資質能力】
- 町内2校の小学校同士で課題解決に向けた計画を話し合ったり、友達と協働して活動したりすることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 前学年での学習を振り返り、課題解決に向け必要なことを考えることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習について大まかな見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・比べたり、分類したり、疑問を持ったり、よいところを取り入れたりしながら活動に取り組むことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人す関関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・互いの小学校同士で教え合って学習していくことを伝えることができる。 ・相手意識をもって自分の考えを伝えることができ、内容を捉えて考えを聞くことができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・友達と協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	
D 関自律的活動能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・前学年での学習を振り返り、課題解決に向け必要なことを考えることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	
	3 ★自己肯定感	【★肯】	

単元の指導

(全 5 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
現 状 題 把 の 握 理 解		1		<p>○3年生の学習テーマは『住田のいいところ』であることを知り、2年生での学び「いいな」からだけでは情報が不足であることに気付く。</p> <p>・3年生の学習テーマが『住田のいいところ』であることを知り、「世田米(有住)のいいところ」と思う「もの・こと・(ひと)」について思い浮かんだものを発表する。</p> <p>※「いいところ」の捉えを確認 すこい=誇れる・自慢できる・紹介したい 等</p> <p>・2年生での学びを想起し、2年生での「いいな」は自分たちの生活に密接した「いいな」であったことに気づき、「町のいいところ」とは、少し異なっていることや紹介するには情報が不十分であることが分かる。</p>		☆多		☆感
課 見 題 通 し 設 持 つ		1		<p>○これからの学習の見通しをもつ①</p> <p>・前時に「世田米(有住)のいいところ」として出てきた「もの・こと・(ひと)」に追加していき、「いいところ」を説明し、【観光・自然】【芸能】(【人】)に分類し、詳しく「いいところ」を見つけて学習であることを掴む。</p> <p>※有:ここで学習をストップしておく。(世田米小3年生からTELが来るまで)</p> <p>・世:3年生は「住田のいいところ」が学習であり、世田米町と有住町のいいところが揃って「住田のいいところ」となることを確認し、有住とは有住に住んでいる人、自分たちを同じように学習を進めているであろう人、つまり「有住小学校3年生」に聞くこととする。</p>		☆見(世) ★好		
有世見 通 課 情 し 題 報 を 設 収 持 定 集 つ	4	1	計 画 づ く り	<p>○これからの学習の見通しを持つ② ※担任間で事前打合せをし、確認しておく。</p> <p>・世:有小に「有住のいいところ」を覚えてもらう連絡をするための、相談や練習を行う。 (分担:誰が、何を:内容、どのように:伝え方)</p> <p>↓</p> <p>スカイプ(Tvtel)で話をし、有住小学校3年生に「有住のいいところ」を覚えてもらうと共に、「世田米のいいところ」を紹介することを約束する。</p> <p>・有:世小から、地域創造学の学習で「お願い」の連絡がくることを知る。</p> <p>↓</p> <p>スカイプ(Tvtel)で話をし、世小に「有住のいいところ」を教えることをOKするとともに、同じように「世田米のいいところ」を覚えてもらうことを約束する。 いつ教えるか(日程)は、後で有小からスカイプ(Tvtel)することを伝える。</p>			☆伝(世) ☆協(有)	
見 計 通 画 し ず を 持 つ		1		<p>○これからの学習に見通しをもつ③ すぐ教えることができるかを検討し、2学期に教えあうことを確認する。</p> <p>・有:現時点では、「町のいいところ」を自分達自身が理解不十分であることを自覚し、紹介するために自分自分達自身が「町のいいところ」探しをする必要性を感じる。</p> <p>↓</p> <p>世田米小学校3年生に「1学期期間は、「それぞれが『町のいいところ』を探し、2学期に紹介しあうこと」を連絡をするための、相談や練習を行う。(分担:誰が、何を:内容、どのように:伝え方)</p> <p>↓</p> <p>スカイプ(Tvtel)で話をし、世田米小学校3年生に「1学期期間は、「それぞれが『町のいいところ』を探し、2学期に紹介しあうこと」を伝える。</p> <p>・世:有住小学校3年生から、地域創造学の連絡がくることを知る。</p> <p>↓</p> <p>スカイプ(Tvtel)で話をし、有住小学校3年生に「2学期にそれぞれの『町のいいところ』を紹介し合うこと」を確認する。</p>		☆見(有)		☆協(世)
		5						
(見 有 通 し 課 を 題 持 つ 握)	5	1		<p>○これからの学習に見通しをもつ④ 学習状況进行交流し、【芸能】については、3学期に紹介しあうことを確認する。</p> <p>・世:有小へ近況報告として、「町のいいところ」【観光・自然】について今一時中断して、運動会練習を通して【芸能】を現在進行形で実際に行っていることを伝えようとする。 ※実際の練習風景をVTRで紹介有住へ近況報告をするための、相談や練習を行う。(分担:誰が、何を:内容、どのように:伝え方)</p> <p>↓</p> <p>スカイプ(Tvtel)で話をし、有小に権現様を練習している様子を伝える。</p> <p>・有:世小の近況報告を聞いて、有小の【芸能】の取組は3学期行うことを伝え、【芸能】については3学期に交流しあうことを提案する。</p>		☆見(有)		

単元名 「すごいな 住田のいいところ ～見つけよう～」

単元の目標

- 地域の名所の特色に気付き、その良さを表現することができる。【社会参画に関する資質能力】
- 名所に対する地域の人々の思いを感じ取るとともに、友達と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 地域の名所に関心を持ち、進んで探究活動に取り組むことができる。【自立的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・ 地域の名所について理解を深め、そのよさを感じ、積極的に関わることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・ 学習について大まかな見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・ 比べたり、分類したり、疑問を持ったり、よいところを取り入れたりしながら活動に取り組むことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・ 自分たちの地区にある名所の「すごい」「いいな」というところについて、自分の考えを話したり書いたりして表現することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・ 自分たちの地区にある名所に関心を持ち、積極的に関わることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・ 活動がうまくいかないときにも、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・ 調べる内容や学んだ内容の伝え方を、仲間と意見を出し合って決めることができる。 ・ 相手意識をもってまとめたり発表したりできる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・ 課題を探究するために、友達と協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・ 家族やゲストティーチャーとの対話から、名所に関する地域の人々の思いを感じ取ることができる。 ・ 見学学習で見たことや聞いたことを進んで記録することができる。
D 自立的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・ 学習を振り返り取り組みの現状を認識して、課題解決に必要な学びや活動を考えることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・ 自分たちの地区にある名所のよさについて感じたことを自分なりの方法で表現し、伝えようとするすることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・ 自分や家族が知っている名所を発表し、調べたいことを考えることができる。

単元の指導

(全 22 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力				
					A	B	C	D	
現状把握	5	1	す ご い な 住 田 の い い と こ ろ く 見 つ け よ う	○ 自分たちの地区の「いいところ」【観光名所・自然】について、知らないことが多いことを認識する。 ・計画作りの段階で思い浮かべた「住田の『いいところ』」の中から、自分達の地区のものについて、その特徴や良さを実際に発表してみる。そして、自分たちが知らないことが多く、誇りであると感じたり誰かに紹介したりできないということを実感する。		好		感	
課題設定		1		○ 自分たちが地区の「いいところ」【観光名所・自然】について知ったり、その後に互いの学校同士で紹介し合ったりするには、どのような学習が必要か考え、確かめる。 ・目指すゴール(どんな活動ができればよいか)、そのためにどんな学習をしていけばよいか考え、学習計画を確認する。 ○ 単元の学習課題を設定する。 例「世田米(有住)の観光名所・自然の「すごいな」「いいな」を見つけよう。」		見			
情報収集		2		○ 地区の「いいところ」【観光名所・自然】を見つけるために、名所についての情報を集める。 ・自分が知っていることや行ったことがある経験などを話したり、家族から聞いてきたりする。 【道徳】相互理解・寛容 【社会】わたしの住むまちはどんなまち		好		肯	
見通しをも		1		○ 自分たちがぐわしく知りたい場所はどこか、互いの学校の児童に紹介(案内)するにはどの場所が相応しいか、集まった情報を整理して理由つけて考える。 ○ 調べる場所を決定する。		多			
見直しをもつ		3		○ 地区の「いいところ」【観光名所・自然】についての調査計画を立てる。 ・グループ分けをする。 ・調べ方を決める。(実際に行く、人に聞く、本で調べる、地図や写真を見る、役場から資料をもらうなど) →「実際に行く」に決まる可能性が高いので、行って、もっと調べたいことは資料を使うなどして追加で調べること を確かめる。 ・「すごいな」「いいな」を見つけるには、どんな観点で見たり、どんな質問をしたりすればよいか、調査の内容を考 える。 ・実際に見ることや聞くことなどの調査内容を決める。(事前に決めたことだけに拘らず、その場で聞きたいと思っ たことは聞いてよいことを確認する。) ・話し方の練習やマナーの確認をする。		見	協		
実施		5		○ グループごとに調査活動を行う。 ・地域の名所に出かけ、実際に見たり話を聞いたりして分かったこと、感じたこと、考えたこと、もっと調べたいと 思ったことなどを記録する。 【道徳】郷土愛 【道徳】自然愛 【国語】よい聞き手になろう 【社会】わたしの住むまちはどんなまち		地理		受	
振り返り		1		○ 調査内容をまとめる。 ・分かったこと、感じたこと、考えたこと、もっと知りたいと思ったことなどをグループで共有する。 ・誇りに思えることや、誰かに紹介したいと思うことが見つかったかを確認する。 ・もっと知りたいと思ったことの調べ方を決める。 【社会】わたしたちの市の様子 【道徳】郷土愛		多		創	
実施・改善	2	○ もっと知りたいと思ったことを調べる。 ・人から聞いたり、本や地図、写真などの資料で調べたりして分かったこと、感じたこと、考えたことを記録する。		地理	解	受			
振り返り	1	○追加で調べたことを含め、「すごいな」「いいな」を見つけることができたか確かめる。 ・分かったこと、感じたこと、考えたこと、もっと知りたいと思ったことなどをグループで共有する。 ・誇りに思えることや、誰かに紹介したいと思うことが見つかったかを確認する。 【道徳】郷土愛		多		感			

単元名 「すごいな 住田のいいところ ～教えよう～」

単元の目標

- 名所の特色について、相手に伝わるように表現することができる。【社会参画に関する資質能力】
- 名所に対する地域の人々の思いを感じ取るとともに、友達と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 地域の名所に関心を持ち、進んで探究活動に取り組むことができる。【自立的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・地域全体の名所について理解を深め、そのよさを感じ、積極的に関わることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習について大まかな見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・比べたり、分類したり、疑問を持ったり、よいところを取り入れたりしながら活動に取り組むことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・自分たちの地域にある名所について互いの小学校同士で伝えることができるように、自分の考えを話したり書いたりして表現することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・地域全体の名所に関心を持ち、積極的に関わることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・活動がうまくいかないときにも、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べる内容や学んだ内容の伝え方を、仲間と意見を出し合って決めることができる。 ・相手意識をもってまとめたり発表したりできる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・課題を探究するために、友達と協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・互いの学校児童の話から、名所に関する地域の人々の思いを感じ取ることができる。 ・地域全体の名所の「すごい」「いいな」について教えられたことに感想を話したり書いたりできる。
D 自立的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り取り組みの現状を認識して、課題解決に必要な学びや活動を考えることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・地域全体の名所のよさについて感じたことを自分なりの方法で表現し、伝えようとすることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分が住んでいる地区の「すごい」「いいな」を相手に伝えられたことを実感することができる。

単元の指導

(全 30 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
課題 設定 作り	8 ・ 9	1	す ご い な	○ 互いの学校同士でそれぞれ地区の「いいところ」【観光名所・自然】を紹介し合い、住田全体の「すごいな」「いいな」を知るには、どのような学習が必要か考え、確かめる。 ・目指すゴール(どんな活動ができればよいか)、そのためにどんな学習をしていけばよいか考え、学習計画を確認する。 ○ 単元の学習課題を設定する。 例「世田米(有住)の観光名所・自然の「すごいな」「いいな」を教えよう。」		見		
見 通 し を も つ		2		○ 互いの学校に、自分たちの地区の「いいところ」【観光名所・自然】を教えるための伝え方を決める。 (実際に案内する・テレビ電話で伝える・ポスターなどにまとめて発表するなど) ○ 調べたことの中から教えたいことを選んだり、まとめの構成を話し合ったりする。 【道徳】相互理解・寛容 【国語】つたえよう、楽しい学校生活			伝	創
ま と め		3		○ 決めた方法でグループごとにまとめる。 ・実際に案内するなら、どんな話をするか決める。紙芝居やクイズなど、作る必要があるものは作る。 【道徳】相互理解・寛容 【国語】つたえよう、楽しい学校生活		提 伝		
実 施		3		○ グループ内で役割を決め、互いの学校への発信に向けて練習をする。 ・グループの中で、互いの学校に案内するときに話す内容を実際に話したり、紙芝居やクイズなどをするのであればそれを読んでみたりする。		提	協	
見 通 し を も つ		2		○ 交流本番についての計画を立てる。 ○ 互いの学校の進行具合を確かめ合い、日程を決定する。 ・テレビ電話などで進行状況を伝え合い、本番の日程やどちらから行くかなど決める。				感
改 善		2		○ 互いの学校への発信に向けて、校内で発表を聞き合ったり作ったものを見合ったりして、内容・発表の仕方についてアドバイスをし合う。 ・内容についてのアドバイス、発表の仕方についてのアドバイスに分けて、共に観点を決めて考えさせる。 ・「すごいな」「いいな」が伝わる内容になっているか。 【道徳】相互理解・寛容		多		
実 施 ・ 改 善		3		○ よりよい発信になるように修正する。 ・自分たちで実際に周りに伝えてみて気付いたこと、友達からアドバイスされたことを修正できるように話し合い修正する。 ・内容についても追加で調べる必要があったら調査活動を行う。			解	
見 通 し を も つ		2		○ 発表本番に向けた練習をする。 ・「すごいな」「いいな」が伝わる内容になっているか。			協	創
実 施	11	4	○ 互いの地域の名所について、決めた方法で伝える。① ・バスを使って互いの地区に行き、実際に案内してもらい、紙芝居やクイズなどを使って発表するなど。 【道徳】相互理解・寛容	地理	提 好	伝		
実 施		4	○ 互いの地域の名所について、決めた方法で伝える。② ・バスを使って互いの地区に行き、実際に案内してもらい、紙芝居やクイズなどを使って発表するなど。 【道徳】相互理解・寛容	地理	提 好	伝		
振 り 返 り		2	○自分たちの発表(案内・紹介)について、また、相手の小学校の発表(案内・紹介)について振り返る。 ・「すごいな」「いいな」を伝えることができたか。 ・相手の学校から伝えられた内容(情報)について「すごいな」「いいな」と感じるのは、どんなことか。 ○各自が思う住田全体の「すごいな」「いいな」についてまとめる。 【道徳】相互理解・寛容 【道徳】郷土愛 【道徳】自然愛護			受	肯	
振 り 返 り		2	○互いの発表(案内・紹介)の振り返りについて、伝え合う内容を決め、それに向けた準備をする。 ・手紙を書いて送り合う、ビデオレターにするなど決めた方法で取り組む。 ○互いの発表(案内・紹介)の振り返りについて、伝え合う。 【道徳】自然愛護			受		

単元名 「すごいな 住田のいいところ ～受け継ごう～」

単元の目標

- 地域に伝わる芸能を知り、その良さを感じ、表現することができる。 【社会参画に関する資質能力】
- 学習に関わる人との交流や対話を通して、その人の思いや願いに気付くことができ、友だちと協働して活動することができる。 【人間関係形成に関する資質能力】
- 自分たちの町に伝わる芸能の良さを表現し、学習したことをこれからの生活や学習に生かそうとすることができる。 【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・地域の芸能について知り、その良さを感じ、伝承活動に積極的に関わることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習の見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・踊りの由来や人々の願いを知り、自分はどのように踊りたいかを考えることができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・地域の良さや自分の思いがよく伝わるように、交流会で踊りを披露することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・地域に伝わる芸能について興味・関心を持ち、積極的に踊りの練習に関わることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・本番の発表を成功させるために、友だちと協力し、励まし合いながら最後までやり抜くことができる。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・6年生から聞いたり、友だち同士で教えあったりしながら、より良い踊りを目指すことができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・友だちと協力しながら、より良い踊りの発表を目指し、練習に取り組むことができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・友だちや関わった地域の方々の思いや願いに気付き、大切にすることができる。
D 関自律的資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り、これからの学習や生活に生かそうとすることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・地域に伝わる芸能、またその良さを表現し、伝えようとするすることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・取り組みを通して、成果と課題を見出し、これからの生活に生かそうとすることができる。

単元の目標

- 地域に伝わる芸能を知り、その良さを感じ、表現することができる。 【社会参画に関する資質能力】
- 学習に関わる人との交流や対話を通して、その人の思いや願いに気付くことができ、友だちと協働して活動することができる。 【人間関係形成に関する資質能力】
- 自分たちの町に伝わる芸能の良さを表現し、学習したことをこれからの生活や学習に生かそうとすることができる。 【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・地域の「もの・こと(人)」を振り返る中で、地域の良さを感じ、理解することができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・地域の良さや自分の思いがよく伝わるように、発表することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人する関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の思いや願いを伝えるとともに、友だちの伝えたいこともしっかり聞き、互いに考えを伝え合うことができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	
	3 ★他者受容	【★受】	・友だちの思いや願いを大切に受け止めることができる。
D 関自律的資質能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り、これからの学習や生活に生かそうとすることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・地域に伝わること、良さを伝えようとするすることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・1年間の取り組みを通して、成果と課題を見出し、これからの生活に生かそうとすることができる。

単元名

I Can Communicate with the World! 世界とコミュニケーションできるよ!

単元の目標

- 身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 地域の人々や仲間の思いや願い、考えを大切に受け止め、自分と異なる意見や考えについて、その背景にあるものを考えながら大切に捉え、考えを伝え合うことができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 自分の感性や創造性を発揮し、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことで、自分のよい所を伸ばそうとする。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・IETとの関わりを通して、他の国の文化と比較しながら、地域の人々の暮らし、伝統など、住田固有のよさについて理解を深め、それらを大切に地域に積極的に関わることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わろうとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人す間る関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・丁寧な理由付けしたり事例をあげたりしながら、自分の考えを伝えることができるとともに、話し手の伝えたいことを聞き、考えを伝え合うことができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	
	3 ★他者受容	【★受】	・地域の人々や仲間の思いや願い、考えを大切に受け止め、自分と異なる意見や考えについて、その背景にあるものを考えながら大切に捉えている。
D 関自律的資質活動に力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・様々な言葉で歌う活動を通して、よりよいものを目指しながら、自分のよさに気付こうとする。

単元の指導

(全 10 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
課題の設定	5	2	住田での好きな季節	My Favorite Season in Sumita 住田での好きな季節 ○前年度までの活動を振りかえり、「地域創造学」で学ぶことを確認する。 ○IETのマーク先生と一緒に外国の人ともより一層つながっていくことを確認する。 ○第1時 住田町の好きな季節とその理由を考える。発表の準備を始める。 ○第2時 最終準備と学級でのプレゼンテーション発表をする。	地理	★好	☆伝	
見通しを持つ	6	2	ボディランゲージ	Body language in different cultures 文化の違う国のボディランゲージ ○身体部位の呼び方や、世界で非言語コミュニケーションのために身体の一部が使われている様々な表現に親しむ。 ○コミュニケーションには言語のみでなく、非言語のコミュニケーションも有効であることを学ぶ。 ○非言語のコミュニケーションを用いると、すでに多くの人に気持ちを伝えることができるようになっていることを確認し、さらに様々なコミュニケーションの方法を学んでいくことを確認する。		★好	★受	
実施	7・8	2	異文化とのふれあい	異文化とのふれあい International Cooking (外国料理) ○世界各国の朝食の主な様子について学ぶ。 ○日本での朝食と比較し、文化の違いに気が付く。		★好	★受	
	9	2	世界の歌をたくさんの人と共有しよう	Singing Songs From Around the World 世界の歌をたくさんの人と共有しよう ○世界の歌を原語で歌ってみる。 ○町民歌「幸せ創る町住田」の外国語版を含む。		★好		☆創 ★肯
振り返り	1	2	1年間の振り返り発表	○1年間IETや友達と単元を通じて学んだことを振り返り、自分のことばで発表する。 ○年間の活動を通じて感じたこと、学んだことを個人で振り返り、「理想の国に必要なこと」というテーマで感想(作文でよいか検討を。ビデオでショートスピーチを撮影、なども考えられるか)を書く。 プレゼンテーションをするかも検討				☆創

単元名 **すごいぞ住田！計画を立てよう**

単元の目標

○1年間の学習の見通しをもち、わたし達の町住田町への関心をもつことができる。

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	
B 社会 参画 に 関 する 資 質 能 力	1 ☆見通す力	【☆見】	・自分にとって価値のある課題を見出したり、解決の計画を立てて取り組むことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・ふるさと住田町に自発的な関心を向け、それを自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わろうすることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・
C 関 人 間 関 係 資 質 能 力 に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・
	2 ☆協働する力	【☆協】	・
	3 ★他者受容	【★受】	・
D 自 律 的 活 動 に 関 する 資 質 能 力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・
	2 ☆創出する力	【☆創】	・
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・

単元名 **すごいぞ住田！お年よりと仲よし**

単元の目標

- 高齢者が自分達と共に暮らしていることを理解し、地域の一員として自分ができることを考え表現することができる。
- 【社会参画に関する資質能力】
- 高齢者との交流や体験活動を通し、高齢者の感じ方や考え方に気づくとともに、友達と協働して活動することができる。
- 【人間関係形成に関する資質能力】
- 高齢者と関わることに関心をもち、進んで探究的活動に取り組むことができる。
- 【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準		
A ◎地域理解		【地理】	・地域にいるお年寄りについて理解を深め、大切にしたいという思いをもち、積極的に関わることができる。	
	B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・身近なお年寄りに関わり、課題を見出し、解決の計画を立てて取り組むことができる。
		2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・課題を解決するために、比べたり、関係付けたり、条件付けたり、多面的に調べたりしながら、よりよい考えを見出すことができる。
		3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・捉えたお年寄りとの関わり方が、よりよく伝わるようにまとめ方を工夫し、発信することができる。
		4 ★好奇心・探究心	【★好】	・お年寄りに関心を向け、それを自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わることができる。
		5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・お年寄りと関わる上で、自分のやるべきことをしっかりと行い、やり遂げた喜びを味わう経験を積み重ね、自分にとって難しいと思うことでも、最後までやり遂げることができる。
	C 関人する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・体験や交流を通し考えたことを、伝えることができるとともに、話し手の伝えたいことや自分の聞きたいことの中心をとらえて聞き、考えを伝え合うことができる。
		2 ☆協働する力	【☆協】	・友達と互いの思いや願い、考えを交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。
		3 ★他者受容	【★受】	・お年寄りの思いや願い、考えを大切に受け止め、自分と異なる意見や考えについて、その背景にあるものを考えながら大切に捉えることができる。
	D 自律的活動能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り、自分の現状を認識してこれからの学びや活動に必要なことを捉えることができる。
		2 ☆創出する力	【☆創】	・体験や交流を通し考えたことをもとに、自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことができる。
		3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分のことは自分で行い、よく考え判断して行動し、自分のよさや可能性に気づき、よい所を伸ばそうとすることができる。

単元の指導

(全 17 時間 ※有住13時間)

プロセス	月	時 (有住)	小 単 元 名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
問題の理解 現状把握	4・5	1	ともに生きる、やさしい町	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知りたいこと、やってみたいことを出し合い学習の意欲付けを図る。 ・お年寄りについてのイメージを広げ、認識を共有する。(ウエビングマップ) <p>・自分のおじいちゃん、おばあちゃんは分かるけど、住田にはどんなお年寄りがいるんだろう？</p>		見		
課題への気づき 情報収集		1		<p>○社会福祉協議会の方をお招きし、住田町の施設の様子や介護状況、お年寄り達の様子や気持ちを聞き課題を見出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報の整理や分析が容易になるよう、学習シートなどを工夫しインタビュー活動を行う。 ・住田町社会福祉協議会(46-2300)※仮予約済み 新年度日程を詰めて再度連絡 <p>・お年寄り達のために、施設にはいろいろな工夫があるな。</p>	地理	見	受	
課題設定 情報収集		3 (2)		<p>○キャブハンディ体験を通し、年をとることによる体の不自由さや、どのような接し方がよいのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県立福祉の里センターに依頼し、下肢障がい体験(車椅子)・高齢者疑似体験を行う。 (予約が殺到するため、早めの予約が必要) ・岩手県立福祉の里センター(TEL27-0294) 【国語】だれもが関わりあえるように「手と心で読む」 <p>・体が思うように動かないな。</p>	地理	好		肯
計画を持つ 見通しを持つ		1		<p>○施設の方の話や自分達の体験を振り返り、よりよい関わり方について考え、交流する計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手意識をしっかりともち、よりよい活動になるよう計画づくりを行う。 <p>・おじいさんおばあさんの大変さが分かったぞ。もっと仲良くなりたいな。</p>		見		
実施・改善		4 (2)		<p>○お年寄りと仲良くなるための交流会に向けて、準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会で披露する伝統芸能を、交流会で披露することを見据え、練習も準備活動とする。 <p>・地域の伝統芸能を披露したら、喜んでくれるんじゃないかな。</p>		多	協	創
実施・改善		2		<p>○地域にある老人ホーム(世田米…すみた荘 有住…グループホーム「かつこう」)を訪問し、交流会を行う。</p> <p>・喜んでくれた、うれしいな。</p> <p>・お年寄りの人達は、こういうことをすると喜んでくれるんだ。地域のお年寄りと関わると</p>	地理	好	解	
振り返り まとめ		2		<p>○体験を通し分かったことや感じたこと・考えたことについてまとめる。</p> <p>【道徳】相互理解「おせなかつた車いす」 【社会】事故・事件のないまちを目標として</p> <p>・自分たちがしたことを友達に教えたいな。</p> <p>・おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に笑顔になれたな。</p>		提		
実施・改善		2 (1)		<p>○報告会を開き、交流し合う。</p> <p>・〇〇さんはいい活動をしているな。</p> <p>・みんな学びの多い交流会になったんだな。</p>			伝	
振り返り まとめ	1	<p>○これまでの学習を振り返り、今後の活動について考える。</p> <p>・地域にどんなお年寄りがいるか分かったから、これからの関わり方を工夫していきたいな。</p> <p>・町で困っているお年寄りがいたら、手助けしてあげたいな。</p>				感肯		

単元名 すごいぞ住田！気仙川のためにみんなのできること

単元の目標

- 気仙川の特徴に気づき、今後の在り方について考えることができる。 【社会参画に関する資質能力】
- 気仙川にたずさわる人々の思いを感じ取ることができる。 【人間関係形成に関する資質能力】
- 気仙川に関心を持ち、進んで探究活動に取り組むことができる。 【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・気仙川について理解を深め、気仙川を守る取り組みに積極的にかかわることができる。
		【☆見】	・気仙川に関わり、自分にとっての価値あることを見出したり、課題について解決の計画を立てたりしながら、取り組むことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆多】	・気仙川についての課題を解決するために、比較したり、関係づけたりしながら、よりよい考えを見出すことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆提】	・気仙川のよさがよりよく伝わるように、適切な方法を選んでまとめ、発信することができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆好】	・気仙川に自発的に関心に向け、それを自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的にかかわることができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★解】	・興味・関心のあることだけでなく、気仙川のためにやるべきことをしっかりと行い、最後までやり遂げることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★伝】	・自分の考えを伝えることができるとともに、話し手の伝えたいことや、自分の聞きたいことの中心を捉えて聞き、考えを伝え合うことができる。
C 関人 間 関 係 形 成 能 力 に	1 ☆伝え合う力	【★協】	・友達と交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。
	2 ☆協働する力	【★受】	・地域の人々や友達の思いや願い、考えを、その背景にあるものに目を向けながら大切に受け止めることができる。
	3 ★他者受容	【☆感】	・課題の解決に向けて取り組みの進捗状況を振り返り、現状を捉えた上で、これからの学びや活動に必要なことを捉えることができる。
D 関 自 律 的 活 動 に 関 する 資 質 能 力	1 ☆感じ取る力	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことができる。
	2 ☆創出する力	【★肯】	・よく考え判断して行動し、自分のよさや可能性に気づき、よい所を伸ばそうとすることができる。
	3 ★自己肯定感		

単元の指導

(全 36 時間 * 世小は40時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力				
					A	B	C	D	
現状の把握	6・7	1	調べよう地域の気仙川	○これまでの川体験を想起し、活動への意欲と見通しをもつ。 ・気仙川について知っていることを振り返る		見			
課題設定		1		○地域の気仙川について調べたいことを決める。 ・【道徳】わたしたちの誇り世界遺産(岩手県道徳教育郷土教材集)		見			
実施・改善		(6) (4)			○地域の川を調べる(世小は、水生生物調査のためプラス2時間)	地理	好解		
		1			○自然との共存について考える。 ・【道徳】ふれあいの森で		多		
振り返り		1			○地域の川についてまとめる		提		
課題設定	8・9	1	調べよう気仙川	○気仙川全体について知りたいことを決める		見			
見通しをも		1 (3)			○個人課題を調べる(世小は、プラス2時間)		好		
善・実施・情報集		8			○気仙川探検をする ・探検の計画を立てる ・校外学習 ・まとめ		見好	協	
まとめ振り返り		1			○気仙川探検で見たことと復興を通して、故郷について考える ・【道徳】あの景色をもう一度(岩手県道徳教育郷土教材集)				受
		2			○調べたことを、新聞などでまとめる ・【国語】調べた事を整理して書こう		提		
情報集報	10・11	2	守ろうわたしたちの気仙川	○気仙川の環境保全を行っている人にインタビューする			伝受		
見通し計画を		2			○気仙川のために自分たちができることを話し合う			協他	
		1			○気仙川保全の計画を立てる		見		
実施改善		2			○気仙川保全の活動をする	地理	解	協	創
振り返り		1			○気仙川保全の活動を振り返る				感
現状の把握	11・12	1	考えよう未来の気仙川	○これまでの学習を想起し、気仙川の未来について考えていこうという思いをもつ ・【道徳】気仙川のために・・・(教師作成教材)		多			
まとめ振り返り		1			○これからの気仙川について話し合う			他	
		3			○気仙川未来日記をまとめる		提		創
		1			○気仙川未来日記発表会をする		提	伝	創
		1			○活動全体を振り返る				自

単元名 すごいぞ住田！昔から今へと続くまちづくり

単元の目標

- 先人の功績を知り、今後のあり方について考える 【社会参画に関する資質能力】
- 先人の功績から見方を広げ、地域の発展にたずさわる人々の思いや願いを感じ取ることができる 【人間関係形成に関する資質能力】
- 先人の功績に関心を持ち、進んで探究活動に取り組むことができる 【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・先人について理解を深め、昔から今へと続くまちづくりの取り組みについて関心をもつことができる。
		【☆見】	・先人の功績を学ぶことで、自分にとっての価値あることを見出したり、課題について解決の計画を立てたりしながら、取り組むことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆多】	・ふるさとの課題を解決するために、比較したり、関係づけたりしながら、よりよい考えを見出すことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆提】	・先人の功績がよりよく伝わるように、適切な方法を選んでまとめ、発信することができる。
	3 ☆提案・発信する力	【★好】	・先人の功績に自発的に関心に向け、それを自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的にかかわることができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★解】	・興味・関心のあることだけでなく、ふるさとのためにやるべきことをしっかりと行い、最後までやり遂げることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【☆伝】	・自分の考えを伝えることができるとともに、話し手の伝えたいことや、自分の聞きたいことの中心を捉えて聞き、考えを伝え合うことができる。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆協】	・友達と交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。
	2 ☆協働する力	【★受】	・先人の思いや願い、考えを、その背景にあるものに目を向けながら大切に受け止めることができる。
	3 ★他者受容	【☆感】	・課題の解決に向けて取り組みの進捗状況を振り返り、現状を捉えた上で、これからの学びや活動に必要なことを捉えることができる。
D 自律的資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことができる。
	2 ☆創出する力	【★肯】	・よく考え判断して行動し、自分のよさや可能性に気づき、よい所を伸ばそうとすることができる。
	3 ★自己肯定感		

単元の目標

○1年間を振り返り、地域への理解を深め、自他の成長に気付くことができる。

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・
B 社会 参画 に 関 す る 資 質 能 力	1 ☆見通す力	【☆見】	・
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・
C 関 人 間 関 係 資 質 能 力 に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の成長を伝えることができるとともに、友達の伝えたいことや自分の聞きたいことを中心に捉えて聞き、考えを伝え合うことができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・
	3 ★他者受容	【★受】	・交流会を通し、友達の成長を大切に受け止めることができる。
D 関 自 律 的 活 動 に 関 す る 資 質 能 力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・
	2 ☆創出する力	【☆創】	・1年間の学習を通し、感じたことや考えたことをもとに、創意工夫を凝らしまとめ活動に取り組むことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分のよさや可能性に気付き、よい所を伸ばそうとすることができる。

単元名 If I Made My Own Country もし、自分だけの国を作ったら

単元の目標

- 身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 地域の人々や仲間の思いや願い、考えを大切に受け止め、自分と異なる意見や考えについて、その背景にあるものを考えながら大切に捉え、考えを伝え合うことができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 自分の感性や創造性を発揮し、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことで、自分のよい所を伸ばそうとする。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・IETとの関わりを通して、他の国の文化と比較しながら、地域の人々の暮らし、伝統など、住田固有のよさについて理解を深め、それらを大切に地域に積極的に関わることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わろうとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・丁寧に理由付けしたり事例をあげたりしながら、自分の考えを伝えることができるとともに、話し手の伝えたいことを聞き、考えを伝え合うことができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	
	3 ★他者受容	【★受】	・地域の人々や仲間の思いや願い、考えを大切に受け止め、自分と異なる意見や考えについて、その背景にあるものを考えながら大切に捉えている。
D 関自律的活動能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・様々な言葉で歌う活動を通して、よりよいものを目指しながら、自分のよさに気付こうとする。

単元の指導

(全 10 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
課題の設定	5	1	世界各国のテーブルマナー・食文化	Table Manners & Food Culture Around the World 世界各国からのテーブルマナー・食文化 ○前年度までの活動を振りかえり、「地域創造学」で学ぶことを確認する。 ○IETのマーク先生と一緒に外国の人ともより一層つながっていくことを確認する。 ○日本と外国の食事作法の比較をしながら「国」の文化等について考える	地理	★好	★受	
見通しを持つ	6	3		Let's Make My Own Country 自分だけの国を作ろう ○子どもたちが、自分でユニークな国や文化をつくる活動に取り組む。 ○第1時 どんな種類の国を創りたいか考えはじめる。国名、国旗の色やデザイン(どんな動物や有名な食べ物とその国を象徴するか)を創造する。 ○第2時 プレゼンテーションの準備 ○第3時 最終準備と学級でのプレゼンテーション発表。		★好	☆伝 ★受	
実施	7・8	2	異文化とのふれあい	異文化とのふれあい International Cooking (外国料理) ○ベトナムの主な様子について学ぶ。 ○米の調理方法の違いを確認し、住田とベトナムの文化を比較する。 ○ライスペーパーを使った調理を体験する。		★好	★受	
	9	2	世界の歌をたくさんの人と共有しよう	Singing Songs From Around the World 世界の歌をたくさんの人と共有しよう ○世界の歌を原語で歌ってみる。 ○町民歌「幸せ創る町住田」の外国語版を含む。		★好		☆創 ★肯
振り返り・まとめ	2	2	1年間の振り返り発表	○1年間IETや友達と単元を通じて学んだことを振り返り、自分のことばで発表する。 ○年間の活動を通じて感じたこと、学んだことを個人で振り返り、「理想の国に必要なこと」というテーマで感想(作文でよいか検討を。ビデオでショートスピーチを撮影、なども考えられるか)を書く。 プレゼンテーションをするかも検討	↓		☆伝	☆創

単元名 住田の宝、森を生かそう

単元の目標

- 住田町の林政の事業内容を知り、取り組みや林業のよさを理解し、よりよい社会作りに向けて提案をすることができる。
【社会参画に関する資質能力】
- 課題解決に向けて、林政に関わる人との対話や、グループでの協働して活動することができる。
【人間関係形成に関する資質能力】
- 住田町の林政について関心をもって学び、自らの取り組みをふり返りながら探究を続けることができる。
【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準		
A ◎地域理解	【地理】	・住田町の林政の事業内容について学び、取り組みや林業のよさを感じ、積極的に関わることができる。		
	B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力 【☆見】	・次の活動を見通し、計画を立てて取り組むことができる。	
		2 ☆多角的・多面的に考える力 【☆多】	・林政の各取り組みや林業のよさについて、それぞれのを統合しながら考えることができる。	
		3 ☆提案・発信する力 【☆提】	・林政の取り組みや林業のよさについて、自分の思いがよりよく伝わるように、表現を工夫して発信することができる。	
		4 ★好奇心・探究心 【★好】	・林政の取り組みや林業について興味・関心をもち、積極的に関わることができる。	
		5 ★困難を解決しようとする心 【★解】	・活動がうまくいかないときにも、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。	
	C 関人関する関係形成能力に	1 ☆伝え合う力 【☆伝】	・自分の考えを分かってもらえるように相手意識をもって話し、相手の話を分かろうとして聞くことができる。	
		2 ☆協働する力 【☆協】	・友達と協力しながら活動に取り組むことができる。	
		3 ★他者受容 【★受】	・友達や関わった人の思いに気付き、大切にすることができる。	
	D 関自律的活動に	1 ☆感じ取る力 【☆感】	・学習を振り返り、これからの生活や学習に生かそうとすることができる。	
		2 ☆創出する力 【☆創】	・林政の取り組みや林業のよさを自分なりの方法で表現し、伝えようとするすることができる。	
		3 ★自己肯定感 【★肯】	・自分の頑張りに気付き、認めることができる。	

単元の指導

(全 65 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
現状の理解	4	1	計画づくり	学年の学習テーマを確認し、学習の見通しをもつ。 ・住田町の産業の過去と現在(栗木鉄山跡・林業)を学び、提案していくことを伝える。		見		
情報収集	4	2	栗木鉄山	栗木鉄山について興味をもったことについて自分の力で調べる。 ・インターネットや住田町史で調べる。 ※授業後には、家庭で家族に聞いてみる。	知	好		
課題解決	4 □ 5	1	栗木鉄山	栗木鉄山について調べたことを交流し、その中からさらに自分が追究したいことを見つけ、課題を設定する。 栗木鉄山見学で何を知るためにどのような方法で解決するのか、解決の道筋を立てる。 ・一問一答のような形で、知りたいことをまとめておく。 ・フィールドワークでゲストティーチャーに質問して解決することを確認する。		見		
実施・改善	5	4	栗木鉄山	栗木鉄山を見学し、ゲストティーチャーの説明を聞いたり疑問点を質問したりして自分の課題を解決する。 先人の苦労や功績を知ることにより、地域に誇りや愛着をもつことができる。	知	解		
振り返り	6	5	栗木鉄山	これまでの学習を通して感じたことや考えたことが表れるように、ミニ新聞に表す。 ミニ新聞を友達と交流し、感じたことや考えたことを交流する。 ・1グループ3人程度で、グループでまとめさせる。 【道徳】郷土愛			伝受	創
現状の理解	6	2	森林・林業	住田町の林政について興味をもったことについて自分の力で調べる。 ・インターネットを中心に調べてみる。 ※授業後には、家庭で家族に聞いてみる。 現在住田町で力を入れている産業や木の良さとは何かを知るために林政課の方をお呼びし、お話を聞く。	知			
課題への気付き	6	1	宿泊活動	この宿泊活動を通して、木の良さを体感することを確認する。		見		
情報収集	6	2	宿泊活動	宿泊活動では、どのような体験活動をするのか活動の流れを確認する。		見		
計画しをもつ	6 □ 7	5	宿泊活動	活動の役割分担、やり方等を確認する。		見		
振り返り	7	2	宿泊活動	宿泊活動を通して感じた森林や木の良さについて感じたことや考えたことを作文で書き、全校に発表する。 【道徳】自然愛護		提	伝	
実施・改善	8 □ 9	12	森林・林業	森林・林業について自分が調べたいことを見つけ、個人やグループで調べる。 ・林業、木造建築、遊び(クッブ、種山高原;森の案内人、チェーンソーアート)、燃料、教育(森林環境教育、木育プロジェクト)、害獣駆除 ※社会:エコ、消費者挙育(間伐材、気づかい運動、環境ラベル) ・ICT活用方法を学び、練習する。 【道徳】自然愛護		好解		
振り返り	9 □ 10	7	森林・林業	調べたことをまとめ、発表する。			伝受	

問題 現状把握	1 0	2	森林・ 林業	学習したことをもとに住田の森林や林業をもっと良くしたいことやみんなに広めたいことを考える。 【国語】「明日をつくるわたしたち」		見		
課題 課題への 設定 の 気付き	1 0 □ 1 1	2	森林・ 林業	提案書を書くための材料を集めたり、調べたりする。	知	好 解		
見 通しを する 計画を もつ	1 1	1	森林・ 林業	提案書の構成を考え、必要な内容や不必要な内容を分類したり、図や表などの表現の仕方を妥当性を考えたりし、情報を整理する。		多	伝	感
実 施・ 改 善	1 1 □ 1 2	7	森林・ 林業	前時の学習をもとに材料を集めたり、調べたりする。(2次調査)			伝	
振 り 返 り ま と め	1 2	7	森林・ 林業	調べたことをもとにまとめる。 よりよい社会作りに向けて提案をする。 ・リハーサルを行い、友達から改善点を聞く。 ・修正を加えて、発表会を行う。 【道徳】寛容			伝	創
振 り 返 り ま と め	1	2	森林・ 林業	単元を通して感じたことや考えたことをまとめる。 ・今後の学習や、自分の生き方にふれる。 【社会】森林と生きる 【道徳】郷土愛				肯

単元の目標

- ハロウィンについて調べたことを相手に伝えるような表現の仕方や発信方法を考えることができる。【社会参画に関する資質能力】
- ハロウィンについて何をどのように伝えればよいかを話し合う中で、自分の考えが伝わっているかを確認しながら伝えたり相手の考えを聞いてさらによりよいものにしたりすることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 保育園児にハロウィンについて伝える中で感じたことや考えたことから、成果や課題を振り返ることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・有住小学校で毎年行われている保育園児とのハロウィンを通じての交流について、保育園児と触れ合い、仲良くなることを目標に取り組んでいる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・ハロウィンの意味合いを保育園児にわかるように伝えることをゴールとし、どのような学習の流れにするか計画をたて、見通しをもっている。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・ハロウィンについて調べる中で保育園児に伝えるためには、どのようなことをどのように伝えればよいかを考えて取り組んでいる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・保育園児が興味をもち、ハロウィンについて理解するためにはどのような表現の仕方、どのような発信方法がよいかを考えて選択し、決定している。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・ハロウィンについてこれまでの学習を振り返り、伝えたいことを考えて調べている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・調べたいことについてあらゆる方法の中から良さそうな方法を選択し、解決するまで粘り強く調べている。
C 関人関資質形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・グループで調べたことを共有する中で自分の考えや意図を明確に伝えたり、相手の考えを聞いたりしてより良いものにまとめようとしている。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・保育園児に伝えるためにグループで発表などの役割分担し、協力しながら積極的にグループ活動に参加している。
	3 ★他者受容	【★受】	・みんなで活動する中で自分の考えを主張するだけでなく、友達の考えも共感的に受け止め、いろいろな見方や考え方があることを理解し、広い心で異なる意見を尊重している。
D 関自律的活動能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・取り組みの中で進捗状況を振り返り、目的を捉え直したり発表内容が妥当であるかを考えたりして、よりよい発表にしようとしている。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・保育園児に喜んでもらうためにはどのような工夫が必要か考え、アイデアを出したりして創意工夫して取り組んでいる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・今回の取り組みを通して成果と課題を確認し、次の学習活動につながるような振り返りを行っている。

単元の目標

- 地域の方の思いや願いを受けて、自分達の伝承芸能の踊りに生かすことができる。【社会参画に関する資質能力】
- 地域の方の思いや願いをもとに仲間や下級生にどのような点に気を付けて踊ればよいかを分かりやすく教えることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 伝承芸能を学習していく中で、有住の伝承芸能を受け継いでいこうという思いをもつことができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・有住に伝わる伝承芸能を伝える地域の方々の思いや願いを受け、発展させていこうと取り組んでいる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・伝承芸能にはどのような思いや願いがあるかを知るための解決の見通しを持ち、計画を立てている。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・様々な思いや願いを知り、それらを根拠をもって関連付けたり妥当性のあるものを見出したりしてまとめている。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・地域の方や上級生の伝承芸能への思いや願いを受け、自分たちの踊りのめあてを立て、踊りを練習したり披露したりしている。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・自分が踊る踊りについて興味があることを見つけ、追求して調べている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・地域の方の思いや願いを聞くために身近な人にインタビューしたり保存会の皆さんに聞いたりし、なかなか解決できなくても粘り強く調べている。
C 関人 間 資 質 形 成 力 に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・地域の方の思いや願いを受け、自分たちはどのように踊るかを考え、自分の考えを伝えたり友達の考えを受け入れたりしてより良い踊りを目指している。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・運動会で自分たちの目指す踊りを披露するために、役割分担をし、下級生に踊りを教えたり友達同士で教え合ったりしている。
	3 ★他者受容	【★受】	・地域の方や友達の思いや願いを共感的に受け止め、共により良い踊りを目指している。
D 自 律 的 活 動 に 関 する 資 質 能 力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・これまでの取り組みを振り返り、目標や取り組み方を修正し、より良い発表を目指している。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・踊りを継承していく自分たちが主体者となり、さら踊りの完成度を高めるために意見を出し合っている。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・これまでの取り組みを通して、自分や仲間と共に成し遂げた成果やこれからの課題を見出し、今後の取り組みに生かしていこうとしている。

単元名 地域の生活と世界との比較を通して気が付くこと

単元の目標

○身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に関心を向け、多面的な捉えをしながらそれを自分自身とのかかわりで意味付けをしながら、自分で課題を見出そうとすることができる。【社会参画に関する資質能力】
 ○考えを伝え合いながら、いろいろな見方や考え方があることを理解し、広い心で異なる意見や立場を尊重しようすることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
 ○自分の感性や創造性を発揮し、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことで、自分にとって学ぶことの意味や価値を見出し、自分の生き方につなげて考えようすることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準
A ◎地域理解		【地理】 ・住田ならではの良さを、他の国の文化と比較しながら捉え、自己の生き方のかかわりで考え続け、更に発展させていこうと取り組むことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】 ・課題を解決するために、共通点や差異点を基に比較したり、根拠をもって関係付けたり、条件付けたり、多面的に調べたりしながら、妥当性のあるよりよい考えを見出すことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】
	4 ★好奇心・探究心	【★好】 ・周囲の「ひと・もの・こと」に自発的な関心を向け、それを自分自身とのかかわりで意味付けをしながら、自分で取り組むべき課題を見出そうとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】
C 関人す間る関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】 ・資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫したり、互いの立場や意図を明確にしなが伝え合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】
	3 ★他者受容	【★受】 ・地域の人々や仲間の思いや願い、考えを共感的に受け止め、いろいろな見方や考え方があることを理解し、広い心で異なる意見や立場を尊重しようとしている。
D 関自す律的資質形成力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】
	2 ☆創出する力	【☆創】 ・目的や条件等を踏まえて、感じたことや考えたことをもとに自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり構想したりして、自発的に創意工夫して表すことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】 ・日本語や英語の両言語を用いて活動することを通じて、自分のよさや持ち味を発揮しながら、その実現に向かって努力し、自分にとって学ぶことの意味や価値を見出し、自分の生き方につなげて考えようとする。

単元の指導

(全 10 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
見直しを持つ	7	2	異文化とのふれあい	異文化とのふれあい ○前年度までの活動を振りかえり、「地域創造学」で学ぶことを確認する。 ○IETのマーク先生と一緒に外国の人ともより一層つながっていくことを確認する。 ○第1時 メキシコの主な様子について学ぶ。 ○第2時 メキシコ・南カリフォルニア州料理(タコスとタコスサラダ)の調理に取り組む (中学生海外派遣事業で訪問する地域の特徴的な料理)	地理	★好	★受	
実施	10	3	世界各国の休日・祭り	Cultural Holidays & Events From Around the World 世界各国の休日・祭り ○世界の国の休日や祭りについて調べ、住田町の祭り等との比較をしながら調べて分かったことを発表する。 ○第1時 インターネットを使って世界の国の特別な休日・祭りを検索する。住田町の祭りとの違いについても考える。 ○第2時 選択した国の文化によるイベントや休日について、グループでプレゼンテーションに向けた準備をする。 ○第3時 最終準備と学級でのプレゼンテーション発表。		☆多 ★好	☆伝 ★受	
	12	2	世界の歌をたくさん人の歌をたくさん共有しよう	Singing Songs From Around the World 世界の歌をたくさんの人と共有しよう ○世界の歌を原語で歌ってみる。 ○町民歌「幸せ創る町住田」の外国語版を含む。		★好		☆創 ★肯
振り返り・課題設定	1	3	世界を感じよう	Let's Get a Sense of the World Around Us 世界を感じよう ○中学生海外派遣事業の様子をビデオや写真等を用いて知る。 ○様々な国からの通貨について学ぶ。ドルを使って練習。チップの方法を学ぶ。 ○1年間の学習を通して学んだことをふり振り返り、表現する ○児童個々に、今後の国際教育についての自身の課題を考える		☆多 ★好	★受	

単元名 **我が町 再発見**

単元の目標

- 見学先で出会う人や物と触れ合ったり自分の町と比較したりする中で、自分の町のよさや課題について考えることができる。
【社会参画に関する資質能力】
- 共に思いを伝え合いながら学び合う中で、これまで以上に良好な人間関係を構築することができる。
【人間関係形成に関する資質能力】
- 学ぶ意義を理解し、事前の取り組みから振り返りまで、主体的に活動することができる。
【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・仙台市を訪れ見学や体験を通して学んだことを生かして、町のよさや課題について住田町と比較し、よさを発展させていこうとして取り組むことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・仙台市と比べることにより、住田町のよさや課題について考える活動であるという見通しを持ち、計画を立てたり、修正したりすることができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・市や町のよさを比較しながら見学したり、まとめたりすることができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・学習を通して再発見した町のよさや課題、自分の思いなどを、発信することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・仙台市や住田町により深く興味関心をもち、見学先で出会う人やものと積極的に触れ合うことができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・主体的に計画を立て実践していく中で、困難な場面でも仲間と協力し最後までやり遂げることができる。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・再発見した町のよさが伝わるような表現の工夫をしたり、伝え合うことで考えを広げたりすることができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・自分の役割や責任を果たして市と町の比較をしたり、仲間と共に発表の準備を積極的に行ったりすることができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・市や町にはそれぞれのよさがあることを知ったり、いろいろな見方でまとめたものに共感したりすることができる。
D 関自律的活動に資する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・活動をしていく上で計画を見直したり変更したりしてよりよい達成を目指すことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・再発見した町のよさについて、自分なりの感性や創造性を発揮しながら表現を工夫しようとするすることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・活動を通して学んだことや成長したことを自覚し、今後の学習にいかそうとすることができる。

単元の指導

(全 18 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力				
					A	B	C	D	
現状の理解	4・5・6	1	我が町 再発見①	○今まで学んできた住田町の自然、産業、町の特徴など、町の自慢やよさについて想起し、学習のゴールでは仙台市と比較しまとめたものを発信するというゴールを知る。		見			
見通し計画を持つ		1		○「事前学習」「修学旅行」「事後学習」などの見通しを持ち、学習計画を立てる。 【社会】武士の政治が始まる こそ わたしたちの町へ 【道徳】郷土愛		見			
情報収集		2		○修学旅行に行くために必要な役割分担や班の決定などの準備を行う。				協	
情報収集		6		○見学場所の事前学習や旅のしおり作成など、見学の準備を行う。 【社会】武士の政治が始まる 【国語】ようこそ わたしたちの町へ		解	多		
	6			(修学旅行 学校行事12)					
実施・改善	6・7	5	我が町 再発見②	○市や町を比較し学んだことをまとめ、発表の準備を行う。	地			創	
課題への気付き		1		○発表会を行い、住田町のよさや課題について気付いたことを述べ合う。 【道徳】郷土愛		提		伝	
振り返り		1		○活動を振り返り、2学期の学習「考えよう わたしたちの町の未来」へつなげる。					肯

単元名 考えよう 私たちの町の未来

単元の目標

- 住田のよさや課題に関心をもち、身近な人に発信することができる。【社会参画に関する資質能力】
- 友達の思いや考えを受け止め、いろいろな見方や考え方について理解しようとする。【人間関係形成に関する資質能力】
- 住田町の特色、よさ、課題について気付き、今後のあり方について考えることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・住田町の歴史、文化、産業、先人などに関する住田ならではのよさや文化遺産を通して受け継がれているものを捉え、自己の生き方のかかわりで考え続け、更に発展させていこうと取り組むことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・自分が見出した課題に対して根拠のある予想や仮説をもちながら、解決方法を考えたり、自分の考えを絶えず見直し検討したりすることができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・課題を解決するために、共通点や差異点を基に比較したり、根拠をもって関係付けたり、条件付けたり、多面的に調べたりしながら、妥当性のあるよりよい考えを見出すことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・よりよい社会づくりに向けた取組について、相手に応じた表現や提案の仕方、発信方法を選択・決定し、取り組むことができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・周囲の「ひと・もの・こと」に自発的な関心を向け、それを自分自身とのかかわりで意味付けしながら、自分で取り組むべき課題を見出そうとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・困難な場面に直面しても、共通の目的に向かって仲間と共に粘り強く取り組み、失敗してもその経験を生かしながら最後までやり抜こうとする。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫したり、互いの立場や意図を明確にしながらかえ合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・共通の目標に向かって、仲間や関わる人々の中で、自分の立場や果たすべき役割を果たしながら、様々な活動に積極的に活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・地域の人々や仲間の思いや願い、考えを共感的に受け止め、いろいろな見方や考え方があることを理解し、広い心で異なる意見や立場を尊重しようとしている。
D 自律的資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・課題の解決に向けた取組の進捗状況を振り返り、目的を捉え直したり自分の考えの妥当性を検討したりして、自分にとってよりよい達成を目指すことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・目的や条件等を踏まえて、感じたことや考えたことをもとに自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり構想したりして、自発的に創意工夫して表すことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・目標をもち、自分のよさや持ち味を発揮しながら、その実現に向かって努力し、自分にとって学ぶことの意味や価値を見出し、自分の生き方につなげて考えようとする。

単元の指導

(全 21 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
現状把握	9	2	考えよう 私たちの町の未来①	○これまでの地域創造学で学習したことについて振り返り、住田町のよさや課題について話し合う。○住田町の未来について考えたことを発表し合う学習であることを知り、学習課題を見出す。 【国語】「ようこそ、わたしたちのまちへ」		好		
課題設定		1		○住田町の未来について考えたことを発表し合う学習であることを知り、学習課題を見出す。		見		
見通しを持つ		1		○学習計画を立てる。 【国語】「未来がよりよくあるために」 自然愛護 【道徳】		見		
実施・改善 情報収集	10	8	考えよう 私たちの町の未来②	○グループ毎に知りたいことや疑問などを出し合う。 テーマに沿って調べ学習を行ったり、講師の先生方から話をうかがったりする。 ○住田町の未来についての提案を聞き、質問やアドバイスするところを出し合う。 ○住田町の未来についての提案がさらに伝わるように進んで交流する。 【国語】「未来がよりよくあるために」		堤	伝	創
振り返り		5		○さらに調べ学習をすすめたり、改善点を修正したりして課題についてまとめる。 【道徳】郷土愛			伝	
実施・改善 情報収集	11	2	考えよう 私たちの町の未来③	○調べたことを発信するには、どのような方法がよいかを考える。○発表の練習を行い、アドバイスをしたり、よりよい発表に向けて内容を修正したりする。			受	感
振り返り		2		○講師の先生や地域の方々に自分たちの考えや思いをまとめたものを決めた方法で発表する。 ○これまでの学習を振り返り、今後の活動について考える。			伝	肯

単元名 未来を見据えよう

単元の目標

- 自分達を育ててくれた多くの方々へ感謝の思いを持ち、今後の自分の社会との関わり方を考えることができる。
【社会参画に関する資質能力】
- 中学校生活を見据え、さらに良好な人間関係を構築していこうと考え、協力して活動することができる。
【人間関係形成に関する資質能力】
- 「これまでお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝える」という意義を理解し、主体的に活動することができる。
【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・周りの人々の支えを再認識し、感謝の気持ちを伝えたり自分にできることを実践したりして、卒業後の自分の生き方を見つめたり発展させていこうとしたりすることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・周囲の人々との関わりを振り返り、感謝の気持ちの伝え方を考えたり実際に伝えたりする活動について、見通しを持って計画を立てることができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・様々な視点からお世話になった人や事柄を振り返ったり、感謝の気持ちを伝えるという目標を達成させるために仲間の意見を取り入れたりして取り組むことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・感謝の気持ちを伝えるための発信の方法を考え、選択・決定し、取り組むことができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・周囲の人々との関わりに自発的に目を向け、支えられてきたことに感謝の気持ちを持つことができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・感謝の気持ちを伝えたり、様々な活動を成功させるために仲間と協力して最後までやり遂げようとする可以尝试。
C 関人関関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の考えや思いが伝わるような表現を工夫して伝え合おうとすることができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・感謝の気持ちを伝えたり、6年生を送る会や卒業式を成功させるために仲間と協力して活動に取り組むことができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・様々な視点から多くの人々の支えがあったことに気付くことができる。
D 関自律的活動能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・感謝の気持ちを伝えようとする思いを持ち、計画した活動を振り返りながらよりよい活動にしていこうとして取り組むことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・感謝の思いがより伝わる方法や手段を自発的に考え、創意工夫して表現しようとする可以尝试。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・支えられてきたことから自分と他者とのつながりを感じ、卒業後の生き方につなげていこうとすることができる。

単元の指導

(全 17 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
現状把握	1 ・ 2 ・ 3	1	未来を見据えよう①	○これまでにだれにどんなことでお世話になったかを振り返る。		好		
課題への気付き		1		○だれにどのような形で感謝の気持ちを伝えるのかを考える。 あなたは家庭や地域の宝物 【家庭】 【音楽】卒業 【図工】卒業制作		多		
見直しを持つ		1		○卒業までの予定を確認し、学習計画を立てる。		見		
実施・改善		7		○計画に沿って、準備や練習を行う。 【道徳】相互理解・寛容 あなたは家庭や地域の宝物 【家庭】 【音楽】卒業 【図工】卒業制作		協		
実施・改善		6		○6年生を送る会、清掃活動、製作活動、合唱等の準備や練習をしたり、発表をしたりする。 【家庭】あなたは家庭や地域の宝物 【音楽】卒業 【図工】卒業制作		伝	創	
振り返り		1		まとめ	○活動を振り返り、今後の自分達の生き方や社会との関わり方について考える。	地理		肯

単元名

What makes us happy about our town? 私たちの町を幸せにするものって何？

単元の目標

- 身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に関心に向け、それを自分自身とのかかわりで意味付けをしながら、自分で課題を見出そうとすることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 考えを伝え合いながら、いろいろな見方や考え方があることを理解し、広い心で異なる意見や立場を尊重しようすることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 自分の感性や創造性を発揮し、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことで、自分にとって学ぶことの意味や価値を見出し、自分の生き方につなげて考えようすることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・住田ならではの良さを、他の国の文化と比較しながら捉え、自己の生き方のかかわりで考え続け、更に発展させていこうと取り組むことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・よりよい社会に向け、相手に応じた表現や提案の仕方、発信方法を選択・決定し、発表に取り組むことができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・周囲の「ひと・もの・こと」に自発的な関心に向け、それを自分自身とのかかわりで意味付けをしながら、自分で取り組むべき課題を見出そうとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人す間る関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫したり、互いの立場や意図を明確にしなが伝え合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	
	3 ★他者受容	【★受】	・地域の人々や仲間の思いや願い、考えを共感的に受け止め、いろいろな見方や考え方があることを理解し、広い心で異なる意見や立場を尊重しようとしている。
D 関自律的資質活動能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
	2 ☆創出する力	【☆創】	・目的や条件等を踏まえて、感じたことや考えたことをもとに自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり構想したりして、自発的に創意工夫して表すことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・日本語や英語の両言語を用いて活動することを通じて、自分のよさや持ち味を発揮しながら、その実現に向かって努力し、自分にとって学ぶことの意味や価値を見出し、自分の生き方につなげて考えようとする。

単元の指導

(全 10 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力						
					A	B	C	D			
実施	7	2	異文化とのふれあい	Mystery Cooking in English (英語で料理) ○前年度までの活動を振りかえり、「地域創造学」で学ぶことを確認する。 ○IETのマーク先生と一緒に外国の人ともより一層つながっていくことを確認する。 ○第1時 英語の料理の言い方に慣れ親しむ。 ○第2時 簡単な英語で書かれたミステリーディッシュのレシピで仲間と協働して調理することができる。	地理	★好	★受				
				10	4	伝え合おう 世界の仲間と	伝え合おう世界の仲間とCommunication exchange with Canyon Crest Academy (キャニオン・クレスト・アカデミーとの国際コミュニケーション) ○アメリカ カリフォルニア州サンディエゴのキャニオン・クレスト・アカデミー (H30年度中学生海外派遣での交流校)の生徒へ英語や日本語で手紙を書く。 ○児童は学校や町の様子を写真や絵、ビデオ等を通じて紹介する。		☆提★好	☆伝	
							12	2	世界の歌をたくさん 人と共有しよう	Singing Songs From Around the World 世界の歌をたくさんの人と共有しよう ○世界の歌を原語で歌ってみる。 ○町民歌「幸せ創る町住田」の外国語版を含む。	
1	3	住田町の好きなこと	What I like about Sumita. 住田町の好きなこと 児童が町のことについて幸せに思うこと、誇りに思うことについてグループで考え、短いプレゼンテーションを創作する。 ○「住田町を特別な場所とするもの、こと」について話し合うために、グループに分かれ、学級でのプレゼンテーションの準備を始める。 ○グループでのプレゼンテーションを完成し、学級で発表する。		☆提★好	☆伝					

単元名 住田にはどのような人がいるのだろうか…??

単元の目標

- 調査活動を通して、住田町で活躍している人の願いや住田町を活性化させるための工夫について気づき、それらを模造紙等にまとめることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 調査活動を通して学んだことをクラスメイトに発表したりしている。【人間関係形成に関する資質能力】
- 身近なところにも地域のために貢献している人がいることに気づき、調査活動で取り上げた以外の人物にも目を向けようとしている。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・小学校から学んできた「気仙川」「森林」といった住田の歴史、文化、資源の良さや地域の課題の他に、それに携わる地域の人の「活動」や「実践」を通してその人の思いを感じることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・オリエンテーションを通して、今年度の活動が「地域で活躍している人から思いや考え、実践を学び、住田の魅力を再発見し、地域の人と一緒に未来を考える学習活動」であるという目的を確認する。1年の見通しを持つことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・調査活動を通して、「森林日本一」や「気仙川」といった生徒が抱く地域の良さの中で、実際に林業に従事する人や、様々な分野で住田のために従事、実践されている方の活動を知り、新たに地域の課題や良さに気づくことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・
C 関人す間関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調査活動で調べた「実践」の内容を6W1Hで紙面にまとめたり、発表したりするなどして、クラスメイトに伝えようとしている。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・
	3 ★他者受容	【★受】	・調査活動を通して、「昔は住田の林業は～ことが課題だったんだ、だから～さんは～をしたんだな」といった、住田のために実践してきた人の考えや実践を受け止めることができる。
D 関自律的資質能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・調査活動を通して、「今後計画する学習活動は、自分だけではなく、自分達とは違う立場・世代の人と一緒に地域の未来を考えていく必要がある」といった気持ちが芽生えようとしている。 ・調査活動を通して、「住田町には資源を活かす人、地域のために様々な活動している人が多い。自分には何が出来るだろうか」といった気持ちが芽生えようとしている。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・

単元名 ○○さんのインタビューに向けた計画を立てよう！

単元の目標

- グループ毎の話し合い活動を通して、住田で活躍する人をインタビューするために必要な計画を立て、プラン発表会で提案することができる。【社会参画に関する資質能力】
- プロジェクトメンバーとの話し合い活動を通して地域の方に伝わるように資料を作成したり、プロジェクトプラン発表会で地域の方からアドバイスを踏まえ計画の修正を図ろうとしたりしている。【人間関係形成に関する資質能力】
- プロジェクトプラン発表会を通して、自身の携わる活動の良さや課題を知り、プロジェクト実現に向けての意欲を高めようとしている。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・話し合い活動を通して、「過去は～～で、～～実践をしていたけど、現在は～～だから～～未来は～～だとよりよくなると思う」という住田の過去と現在、未来を結び付け、その過程で地域の方がどんな活動をしてきたか、どう活動していくのが良いかなどを考え、町のリソースや地域の実践をもっと知りたいという気持ちを持つことができる。 ・話し合い活動や中間発表を通して、情報を更に収集し、地域のリソースに対する知識をさらに深めることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・話し合い活動を通して、「～～さんを調査することで、何を学び、何を考えることができるか」、「いつまでに、何をやるか」、「役割分担をどうするか」といったプロジェクト実現までの見通しを具体化することができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・話し合い活動を通して、「この人は～～な実践をしていたけど、私は～～思うから～～人の考えをもっと知りたい。」といった思いや考えをまとめ、その中から、一年間をかけて取り組みたい。追跡したいプロジェクトを選択しようとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・
C 関人す間関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・話し合い活動を通して、「この人は～～だから追跡プロジェクトは難しいと思う」「今まで学んできたすみだの森林のことを更に学習していけるのは～～さんだからこの人を追跡したい」といったアイデアを学級で提案しようとしている。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・
	3 ★他者受容	【★受】	・話し合い活動を通して、「～～さんではないけど、同じ作業や仕事をしている方を知っている。その人を追跡すると地域の未来を考えるきっかけとなるのでは？」といった視点を得ることが出来る。 ・プラン発表会での地域の方々からの助言を通して、自分たちでは気づかなかった視点を得ることが出来る。
D 関自律的活動資質能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・
	2 ☆創出する力	【☆創】	・話し合い活動を通して、「普段見慣れている住田の木は、東京に無いため、住田の魅力になるのではないかな…」といった、リソースを見つける視点を得ることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・プラン発表会を通して、「次回から、実際に追跡プロジェクトに入れそうだ！」地域の方々から「～～の考えが良い。」と認められたなどといった達成感を味わい、プロジェクト実現に向けて意欲を高めている。

単元名 住田で活躍する〇〇さんの願いや工夫についてインタビューしよう！

単元の目標

- 調査活動を通して、年代や職種によって、住田町で活動する人々の願いや住田町を活性化させるための工夫が異なることなどに気づき、それらをインタビュー用紙にまとめることができる。【社会参画に関する資質能力】
- インタビューに向けて役割を分担し、それぞれの役割を果そうと行動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 話し合い活動を通して、住田で活躍する人の活動を願い・工夫といった観点から整理し、取り組みの経過をまとめることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・追跡プロジェクトを通して、「～さんは～思いで、～を取り組んでいた。僕の父さんも～って言うていたな。」「将来～になるためには～さんのような実践を～していく必要があるな」といった実践した方々の思いや願いを学び、その周りの人々の反応、その分野に関する過去と今、未来はどうなっていくかなどを考えることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・追跡プロジェクトを通して、「この人を追跡することでどんなことを学べるか」「誰に聞いてみればさらに詳しく分かるか」といった、活動実現に向けての行動を起こそうとしている。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・
	2 ☆協働する力	【☆協】	・クラスの発表会を通して、「～のことはわかったけど、～を知るには～方法のほうが良いと思う」や「～ことは初めて知った。もっと掘り下げて調べてみれば面白いと思う」といった意見の交流が出来る。
	3 ★他者受容	【★受】	・
D 自律的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・
	2 ☆創出する力	【☆創】	・追跡プロジェクトを通して、自分達が取り組んでいる活動が、「何のために」「誰のために」「何を」「これからどうなっていくのか」「自分たちができることは何か」「地域の方々はどう思っているのか」といった複数の観点から整理し、活動の実現までの過程をまとめている。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・

単元名 プロジェクトに取り組んでみて…

単元の目標

- 報告会や「まとめレポート」の作成を通して、今年度の取り組みの成果や課題を報告する。【社会参画に関する資質能力】
- 話し合い活動や報告会などを通して、話し手が成果を発信したり、聞き手が質問したりするなど、活動を高めることができる発表・質疑応答を行う。【人間関係形成に関する資質能力】
- 報告会や振り返りを通して、達成感を味わったり、次年度に向けての意欲を高めようとしていたりしている。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準		
A ◎地域理解		【地理】	・「まとめ」「振り返り」を通して、①「住田の森林は、資源の循環を意識し生産されている。その素材を活用した食器を作ったので、町内外の皆さんに使って欲しい」といった成果や、②「活動を通して、住田の森林の良さに改めて気が付くことができた。大人になった時に、町外の人にもその良さを伝えていきたい」といった思い・願いを表現することができる。	
	B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・
		2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・
		3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・ 報告会や「まとめレポート」の作成を通して、「住田の森林資源をいかした食器を作り、町内外の人に使い心地を聞くことができた」といった成果や、「よりたくさんの人に利用してもらいたい」といった課題を報告することができる。
		4 ★好奇心・探究心	【★好】	・
		5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・
	C 関人関資形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・ 話し合い活動や報告会などを通して、話し手が「私たちは住田の森林資源を活かした食器を作った」といった成果を発信したり、聞き手が「産業祭りなどに提供すれば、もっとたくさんの人に広まったのでは？」と質問したりするなど、活動を高めることができる発表・質疑応答を行うことができる。
		2 ☆協働する力	【☆協】	・
		3 ★他者受容	【★受】	・
	D 関自律的資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・
		2 ☆創出する力	【☆創】	・
		3 ★自己肯定感	【★肯】	・ 報告会や振り返りを通して、「苦労をしながらも活動をやり遂げることができた」「地域の方から、がんばりを認めてもらった」といった気持ちを味わい、次年度に向けての意欲を高めようとしている。

単元名 インターナショナルプロジェクト ～対話を通して考える国際社会住田～

単元の目標

- 地域に多くの外国人が住んでいることを知り、国籍が異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくことの大切さについて考えることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 町の人の対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 国際社会において大切なことを感じ取り、自分の考えをよりよい形で伝えるために、創意工夫して表すことができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・住田町に暮らす外国の方たちとの交流を通じて町の国際化の状況について知り、自分の生き方との関わりで考え続け、更に発展させていこうと取り組むことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・活動を通じて感じた共通点や差異を基に現在の住田町の状況を捉え、多角的な視点を持って、より妥当な考えを見出すことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・よりよい社会づくりに向けた取組について、相手に応じた表現や提案の仕方、発信方法を選択・決定し、取り組むことができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人する関係資質形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	
	3 ★他者受容	【★受】	・外国の方々の思いや願い、考えを共感的に受け止め、いろいろな見方や考え方があることを理解し、広い心で異なる意見や立場を尊重しようとしている。
D 関自律する資活動能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・他の人の考え等を聞きながら、自分自身の考えを深め、よりよい国際社会についての意見を持つことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えたことを自分の感性を發揮しながら、自発的に創意工夫して表すことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・学んだことの自分にとっての意味や価値を見出し、自分の生き方につなげて考えようとする。

単元の指導

(全 7 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
問題の把握	7	1	地域に住む外国人の	○岩手県や住田町で生活している外国人の状況を知る。 ○単元を通して考えていくことや、まとめ振り返り段階で取り組む活動の内容について理解する。 ○どこの国の人から話を聞きたいか希望調査する。 ○質問の内容を考える	地理	☆多		
情報収集	8	2	外国の方と	○地域に住む外国の方との交流会をもつ。 ○全体会→分科会→全体会 の流れで行う。 ○外国の方には、生徒の質問に答える形式で、自分のことや、出身国のことについてお話していただく。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆多	★受	☆感
計画しを持つ	9	1	多文化共生	○交流して感じたこと、気づいたことを元に「外国人にもやさしいまちづくり」について、グループで話し合う。 ○ビデオメッセージの撮影に向けて「どんなことを伝えたいか」というアイデアを持ちながら話し合う。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆多	★受	☆感
実施	9	1	共生が社会の	○前時の活動で出たアイデアを2つの中学校で交流し、自分たちの意見との違いや他の人の考えの良い点などを知る。 ○ビデオメッセージの撮影に向けてアイデアをまとめ、撮影する。(グループごと) ○多文化共生社会において大切なことや必要なことを考え、レポートにまとめる。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】			☆伝	☆創
振り返り	10	1	を向けて、	○お話を聞いたゲストティーチャーの方に向けて、ビデオメッセージを撮影する。(グループごと) ○撮影したメッセージは、ゲストティーチャーの所属会社等を通じて本人に届ける。 ○多文化共生社会において大切なことや必要なことを考え、レポートにまとめる。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】			☆伝	☆創 ★肯

単元名 住田の魅力とは…

単元の目標

- 調査活動を通して、他の町には無い(少ない)住田町の持つリソースに気づき、模造紙等に整理することができる。【社会参画に関する資質能力】
- 住田町の持つリソースを知るために町民にインタビューをしたり、気がついたことをクラスメイトに発表したりすることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- インタビュー等を通して、世代や職種などの違うことで住田町の持つリソースの捉え方が違うことに気づき、その気づきをプロジェクトの立案に活かそうとしている。【自立的活動に関する資質能力】

評価規準

※資質能力の文例は、「森林・林業を活かすプロジェクト」と「住田町在中の外国の方の生活に注目したプロジェクト」の視点で記述している。

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・調査活動を通して、生徒の思う「遊び場が少ない」「観光地が少ない」といった課題の他に、地域の人が思う「林業に従事する人が年々減少している」「外国語が見当たらず、病院を探すことに苦労している」といった課題を知ることができる。 ・調査活動を通して、「他の地域よりも森林資源が多い」「他の地域よりも、外国出身の方が生活に根付いている」といった地域のリソースを具体化することができる。
		【☆見】	・オリエンテーションを通して、今年度の活動が「住田の〇〇をいかして、住田の魅力を高めるためのプロジェクトを考えよう」という目的を確認し、7月にプラン発表会、11月に報告会、12月にまとめがあることに気づく。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・オリエンテーションを通して、今年度の活動が「住田の〇〇をいかして、住田の魅力を高めるためのプロジェクトを考えよう」という目的を確認し、7月にプラン発表会、11月に報告会、12月にまとめがあることに気づく。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・調査活動を通して、「遊び場が少ない」「観光地が少ない」といった生徒が抱く課題の他に、「林業に従事する人が年々減少している」「外国語が見当たらず、病院を探すことに苦労している」といった、自分達と異なる世代・立場の人の課題もあることに気づくことができる。 ・地域のリソースを具体化する活動を通して、「都市に無くて住田にあることが、住田の魅力だ」「都市にあって住田に無いものが、住田の課題だ」といったように、住田にある(無い)ヒト・モノ・出来事を捉えることができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人す間関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調査活動で調べた「他の地域よりも森林資源が多い」「他の地域よりも、外国出身の方が生活に根付いている」といった内容を紙面にまとめたり、発表したりするなどして、クラスメイトに伝えようとしている。
	2 ☆協働する力	【☆協】	
	3 ★他者受容	【★受】	・調査活動を通して、「住田で林業に携わっている人は、跡継ぎがいなくて困っているんだ…」「住田で暮らす外国の方は、病院を探すことに苦労しているんだ…」といった、自分達と異なる世代・立場の人の考えを受け止めることができる。
D 自立的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・調査活動を通して、「今後計画するプロジェクトは、自分達のことだけではなく、自分達とは違う立場・世代の人にもハッピーになるプロジェクトを考える必要がある」といった気持ちが芽生えようとしている。 ・調査活動を通して、「住田町にあるヒト・モノ・出来事は、住田の魅力を高めるために、活かすことができるものだ！」といった気持ちが芽生えようとしている。
	2 ☆創出する力	【☆創】	
	3 ★自己肯定感	【★肯】	

単元名 住田の〇〇をいかした住田の魅力を発信するプロジェクトを計画しよう！

単元の目標

- グループ毎に住田町のリソースを活かしたプロジェクトを考え、その実現に向けた計画をプラン発表会で提案することができる。【社会参画に関する資質能力】
- プロジェクトメンバーとの話し合い活動を通して地域の方に伝わるように資料を作成したり、プロジェクトプラン発表会で地域の方からアドバイスを踏まえ計画の修正を図ろうとしたりしている。【人間関係形成に関する資質能力】
- プロジェクトプラン発表会を通して、自身の携わるプロジェクトの良さや課題を知り、プロジェクト実現に向けての意欲を高めようとしている。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

※資質能力の文例は、「森林・林業を活かすプロジェクト」と「住田町在中の外国の方の生活に注目したプロジェクト」の視点で記述している。

観点		評価規準		
A ◎地域理解	【地理】	・話し合い活動を通して、「魅力を発信するために、森林資源をいかした食器がつくれそうだ」「課題を解決するために、外国の方から言語を学び、表紙作りをいかせそうだ」といったリソースを、町の魅力を高めるために活用できることに気づくことができる。 ・話し合い活動や中間発表会を通して、「〇〇の〇〇さんが、木材について詳しいようだ」といった情報を収集し、地域のリソースに対する知識をさらに深めることができる。		
	B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力 【☆見】	・話し合い活動を通して、「目的は何か」「目的実現のために、いつまでに、何をするか」、「役割分担をどうするか」といった、プロジェクト実現までの見通しを具体化することができる。	
		2 ☆多角的・多面的に考える力 【☆多】	・	
		3 ☆提案・発信する力 【☆提】	・	
		4 ★好奇心・探究心 【★好】	・話し合い活動を通して、「魅力を発信するために、森林資源をいかした食器がつくれそうだ」「課題を解決するために、外国の方から言語を学び、表紙作りをいかせそうだ」といったアイデアを提案し、その中から、一年間をかけて取り組みたいプロジェクトを選択しようとしている。	
5 ★困難を解決しようとする心 【★解】		・		
C 関人関関係形成能力	1 ☆伝え合う力 【☆伝】	・話し合い活動を通して、「森林資源を活かして食器を創れば住田の魅力が高まるのでは…?」「看板を複数の言語にすれば、外国の方も安心して暮らせるようになり、住田の魅力が高まるのでは…?」といった、リソースをいかしたアイデアを、学級で提案しようとしている。		
	2 ☆協働する力 【☆協】	・		
	3 ★他者受容 【★受】	・プラン発表会での外部の専門家からの助言を通して、自分達では気づけなかった活動の魅力や、活動の改善点について気づき、「この点はよかったから、さらに続けよう」「この点は指摘されたから、改善しよう」といったように、助言を今後の活動にいかそうとしている。		
D 関自律的資質能力	1 ☆感じ取る力 【☆感】	・		
	2 ☆創出する力 【☆創】	・話し合い活動を通して、「普段見慣れている住田の木は、東京に無いため、住田の魅力になるのではないかと…」といった、リソースを見つける視点を得ることができる。		
	3 ★自己肯定感 【★肯】	・プラン報告会を通して、「次回から、実際にプロジェクトに取り組めそうだ!」「『誰のために』と『何のために』の考えが、専門家に認められた!」などといった達成感を味わい、プロジェクト実現に向けての意欲を高めようとしている。		

単元名 プロジェクト実現に向けて行動しよう！

単元の目標

- 取り組んでいる作業を目的と照らし合わせたり、作業が上手くいかない場合はその原因を追究したりするなどして、プロジェクト実現に向けての行動を起こそうとしている。【社会参画に関する資質能力】
- プロジェクト実現に向けて役割を分担し、それぞれの役割を果そうと行動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 話し合い活動を通して、自分達が取り組みたい活動を、目的・対象・費用といった観点から整理し、取り組みの経過をまとめている。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

※資質能力の文例は、「森林・林業を活かすプロジェクト」と「住田町在中の外国の方の生活に注目したプロジェクト」の視点で記述している。

観点		評価規準		
A ◎地域理解	【地理】	・作業を通して、「住田の森林は、林業に携わる人が願いを持って育てている」「住田で暮らす外国の方は、SNSに住田の素敵なスポットを投稿し魅力を発信している」といった、携わる人たちの思い・願いや日常生活に気づくことができる。		
	B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力 【☆見】	.	
		2 ☆多角的・多面的に考える力 【☆多】	.	
		3 ☆提案・発信する力 【☆提】	.	
		4 ★好奇心・探究心 【★好】	.	
		5 ★困難を解決しようとする心 【★解】	・作業を通して、「〇〇のために、という目的に向かっていているか」「上手くいかない原因はどこにあるのか」「誰に聞いてみれば分かるか」といった、活動実現に向けての行動を起こそうとしている。	
	C 関人関する関係形成能力に	1 ☆伝え合う力 【☆伝】	.	
		2 ☆協働する力 【☆協】	・作業中に「私は食器の使い心地をインタビューしてくる」「僕は作った食器を宣伝するためにポスターを作ってみる」といったように、プロジェクト実現に向けて役割分担をして活動することができる。	
		3 ★他者受容 【★受】	.	
	D 関自律的活動に	1 ☆感じ取る力 【☆感】	.	
		2 ☆創出する力 【☆創】	・話し合い活動を通して、自分達が取り組みたい活動を、「何のために」「誰のために」「何を」「いつまでに」「どこで」「どれくらいの費用で」といった観点から整理し、活動の実現までの過程をまとめている。	
		3 ★自己肯定感 【★肯】	.	

単元名 **プロジェクトに取り組んでみて…**

単元の目標

- 報告会や「まとめレポート」の作成を通して、今年度の取り組みの成果や課題を報告する。【社会参画に関する資質能力】
- 話し合い活動や報告会などを通して、話し手が成果を発信したり、聞き手が質問したりするなど、活動を高めることができる発表・質疑応答を行う。【人間関係形成に関する資質能力】
- 報告会や振り返りを通して、達成感を味わったり、次年度に向けての意欲を高めようとしていたりしている。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

※資質能力の文例は、「森林・林業を活かすプロジェクト」と「住田町在中の外国の方の生活に注目したプロジェクト」の視点で記述している。

観点		評価規準	
A	◎地域理解	【地理】	・「まとめ」「振り返り」を通して、①「住田の森林は、資源の循環を意識し生産されている。その素材を活用した食器を作ったので、町内外の皆さんに使って欲しい」といった成果や、②「活動を通して、住田の森林の良さに改めて気が付くことができた。大人になった時に、町外の人にもその良さを伝えていきたい」といった思い・願いを表現することができる。
	B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】
2 ☆多角的・多面的に考える力		【☆多】	・
3 ☆提案・発信する力		【☆提】	・報告会や「まとめレポート」の作成を通して、「住田の森林資源をいかした食器を作り、町内外の人に使い心地を聞くことができた」といった成果や、「よりたくさんの人に利用してもらいたい」といった課題を報告することができる。
4 ★好奇心・探究心		【★好】	・
5 ★困難を解決しようとする心		【★解】	・
C 関人関関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・話し合い活動や報告会などを通して、話し手が「私たちは住田の森林資源を活かした食器を作った」といった成果を発信したり、聞き手が「産業祭りなどに提供すれば、もっとたくさんの人に広まったのでは？」と質問したりするなど、活動を高めることができる発表・質疑応答を行うことができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・
	3 ★他者受容	【★受】	・
D 関自律的資質能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・
	2 ☆創出する力	【☆創】	・
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・報告会や振り返りを通して、「苦労をしながらも活動をやり遂げることができた」「地域の方から、がんばりを認めてもらった」といった気持ちを味わい、次年度に向けての意欲を高めようとしている。

単元名 インターナショナルプロジェクト ～交流を通して考える国際社会住田～

単元の目標

- 地域に暮らす外国人の方との交流を通じて、国籍が異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に持続可能な社会を形成し生きていくために、自分たちのできることを考えることができる。【社会参画に関する資質能力】
- よりよい国際社会実現のために、相互理解を深めながら集団での活動を行うことができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- よりよい国際社会について必要なことを見極めながら、交流会の企画に発想を生かしたり、自身の可能性に気付いたりして生き方について考えることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・外国との関係を深める住田町の現状を踏まえ、住田固有のよさを継承したり、現在住田町が抱えている課題について、よりよい解決を目指したりするなど、積極的に地域の一人として生きる自分を自覚しながら取り組むことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・収集した情報や考えなどを関係性について分析して解釈し、交流会の企画・実施を通じてより妥当な考えとして具現化することができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・持続可能な社会づくりの視点から、これからの住田町にとって望ましい交流の在り方について交流会の企画を通じて具体的に提案することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人関関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の考えが伝わるように、場の状況を判断しながら言葉を選ぶなどの適切な働きかけを行ったり、様々な立場や考え方を尊重しながら他者の考えを受け止めて相互理解を深めることができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団での活動において、活動する意義や目標を捉え、互いに協力し、その中で自分の役割や責任を自覚し集団の一員として活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・外国の方々の様々な個性や立場を尊重し、広い視野に立ってよりよい国際社会を求めようとする。
D 自律的活動能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・活動を通じて自分自身の考えを深め、よりよい国際社会について本質的に必要なことを見極めながら、自己の在り方について考えることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、交流会を企画するために発想を生かして創造的に表すことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・学習から得た達成感や自信から、自分の良さや可能性に気付き、自分の生き方を考えていくとする。

単元の指導

(全 7 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
問題 現状の把握 理解	7	1	自身の 考えを 自覚化 する	地域における国際化の状況について自身の考えを自覚化する ○1年時や前学年の国際化プロジェクトの振り返りをもとに、現在の自分の考えを持つ。 ○単元を見直し、考えていくことや、まとめ振り返り段階で取り組む活動の内容について理解する。 ○次時の情報収集段階に向けて、質問の内容を考える。	地理	☆多		★肯
情報 収集	8	1	現状に ついて 認識す る	地域における国際化の現状について認識する ○町内の、外国とのつながりの強い企業から講師を招き、国際企業の現状を学ぶ。 ○質疑応答により、町で働く外国人のことについてより詳しく知る。 ○地域に住む外国の方との交流会の内容について立案する見直しをもつ。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆多	★受	
見通し する 計画 を持つ	9	3	多文化 共生 社会 の実 現を 向 ける	前時を基に交流会の内容を企画する (2学期 1単位時間 H31年度ベトナムの方を招いて 2・3年生それぞれに) ○グループで話し合う。 ○各グループの考えを交流する。 ○学年としての企画に練り上げる。 ○必要なことを準備する。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆提	☆協	☆創
実施	9	1	多文化 共生 社会 の実 現を 向 ける	○前時までに企画した内容で交流会を実施し、自分たちの意見との違いや他の人の考えの良い点などを知る。 ○交流したゲストティーチャーの方に向けてビデオメッセージを撮影するために必要なことを考える。 ○単元を通じて感じたことを「多文化共生社会において大切なことや必要なこと」としてまとめる準備をする。(授業当日・自宅) 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】			☆伝	☆感 ☆創
振り返り まとめ	10	1	多文化 共生 社会 の実 現を 向 ける	○交流したゲストティーチャーの方に向けて、ビデオメッセージを撮影する。 ○撮影したメッセージは、ゲストティーチャーの所属会社等を通じて本人に届ける。 (互いの中学校でも交流、住田テレビでの放送あり) ○単元を通じて感じたことを「多文化共生社会において大切なことや必要なこと」としてまとめる。(振り返りは次年度にのこす) 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】			☆伝	☆感 ☆創 ★肯

単元の目標

- 住田町の資源や魅力について理解を深め、ガイドブックの形で表現することができる。【社会参画に関する資質能力】
- 町の人との対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 学んだことをよりよい形で伝えるために、工夫改善することができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・住田町の歴史や文化、資源や魅力について知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動することができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択することができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・見た人に伝わるように、レイアウトや文章を工夫することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・調査内容や方法について積極的に意見を出し、主体的に調査活動を行うことができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えることができる。
D 関自律的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学んだことを自分ごとに引き付けて考え、これからの自己の学びや活動への見通しを持つことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・学んだことについて構想を練り上げて、創造的に表現することができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとすることができる。

単元の目標

- 住田町の資源や魅力について理解を深め、ガイドブックの形で表現し、効果的な伝達方法を考えることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 町の人との対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 学んだことをよりよい形で伝えるために、工夫改善することができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・住田町の歴史や文化、資源や魅力について知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動することができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択することができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・見た人に伝わるように、レイアウトや文章を工夫することができる。 ・ガイドブックの活用方法について提案することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・調査内容や方法について積極的に意見を出し、主体的に調査活動を行うことができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
C 関人関する関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えることができる。
D 関自律的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学んだことを自分ごとに引き付けて考え、これからの自己の学びや活動への見通しを持つことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・学んだことについて構想を練り上げて、創造的に表現することができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとすることができる。

単元の目標

- 住田町の現状と課題を知り、課題解決のための行動を考えることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 町の人との対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 町の課題を自分ごととして考え、その解決の方法を主体的に構想することができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・住田町の現状と課題を知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動することができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択することができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・見た人に伝わるように、レイアウトや文章を工夫することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・調査内容や方法について積極的に意見を出し、主体的に調査活動を行うことができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
C 関人関する関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えることができる。
D 関自律的資質能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学んだことを自分ごと引き付けて考え、これからの自己の学びや活動への見通しを持つことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・課題解決の方法を主体的・創造的に考えることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとすることができる。

単元の目標

- 住田町の現状と課題を知り、課題解決のための行動を起こすことができる。【社会参画に関する資質能力】
- 町の人との対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 町の課題を自分ごととして考え、その解決の方法を主体的に構想することができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・住田町の現状と課題を知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動することができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択することができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・課題の解決策を具体的に考え、よりよい発信方法を工夫することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・課題の解決策について積極的に意見を出し、主体的に活動を起こすことができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
C 関人関する関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えることができる。
D 関自律的資質能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学んだことを自分ごと引き付けて考え、これからの自己の学びや活動への見通しを持つことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・課題解決の方法を主体的・創造的に考えることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとすることができる。

単元の目標

- 住田町の現状と課題を知り、課題解決のための行動を考えることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 町の人との対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 町の課題を自分ごととして考え、その解決の方法を主体的に構想することができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・住田町の現状と課題を知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動することができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択することができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・見た人に伝わるように、レイアウトや文章を工夫することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・調査内容や方法について積極的に意見を出し、主体的に調査活動を行うことができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
C 関人関する関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えることができる。
D 関自律的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学んだことを自分ごと引き付けて考え、これからの自己の学びや活動への見通しを持つことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・課題解決の方法を主体的・創造的に考えることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとすることができる。

単元の目標

- 住田町の現状と課題を知り、課題解決のための行動を起こすことができる。【社会参画に関する資質能力】
- 町の人との対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 町の課題を自分ごととして考え、その解決の方法を主体的に構想することができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・住田町の現状と課題を知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動することができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択することができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・課題の解決策を具体的に考え、よりよい発信方法を工夫することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・課題の解決策について積極的に意見を出し、主体的に活動を起こすことができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
C 関人関する関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えることができる。
D 関自律的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学んだことを自分ごと引き付けて考え、これからの自己の学びや活動への見通しを持つことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・課題解決の方法を主体的・創造的に考えることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとすることができる。

単元名 けいかくをたてよう

単元の目標

○住田(有住・世田米)の「楽しいな」「行ってみたいな」「だいすき！」を見つけていくことを確認し、教師と一緒に1年間の計画を立てることができる。【社会参画に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・住田(有住・世田米)の「楽しいな」「行ってみたいな」「だいすき！」を見つけていくことを確認し、教師と一緒に1年間の計画を立てることができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・
	2 ☆協働する力	【☆協】	
	3 ★他者受容	【★受】	・
D 自律的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
	2 ☆創出する力	【☆創】	
	3 ★自己肯定感	【★肯】	

単元の指導

(全 2 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
課題設定	4	1	計画	地域創造学の学習について知る。 住田(有住・世田米)の「楽しいな」「行ってみたいな」「だいすき！」を見つけていくことを確認し、学習の見通しを持つ。 ①学校の中や周り、地域の楽しそうなところを考え、話し合う。		見		
見通し計画を持つ		1		②考えた楽しそうなところを分類(学校の中、外、地域、四季など)し、1年間の見通しをもつ。 ・学校の中(学校探検) ・学校の外(校庭、公園、木) ・地域(種山、気仙川)など ・虫や花、野菜(あさがお、ミニトマト、オクラなど)		見		

単元の目標

- 学校には様々な仕組みやきまりがあることを知り、それを守って行動することができる。【社会参画に関する資質能力】
- 自分のことをみんなの前で話したり、友達の話すことを聞いたりすることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 学校やその周辺のひとつの・ことについて関心を持ち、楽しく学校生活を送ろうとする。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・学校の内外を探検したり、学校にいる人と交流したりして、その楽しさ、よさに気付くことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・学校の内外を探検することを知り、どんなひとつの・ことがあるのか予想し、教師と一緒に計画を立てることができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・学校の内外の探検の中で、自分なりの「楽しい」を見つけ、その理由を考えることができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・学校の内外の探検の中で見つけた「楽しい」について、絵や言葉などで表すことができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・学校の内外の探検に興味・関心をもち、学校のひとつの・ことに積極的に関わることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・体験活動の中で困ったことがあっても、周りの人に相談したり助け合ったりしながら、最後までやり遂げることができる。
C 関人す間関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の思ったことを伝えたり、友達の思ったことを聞いたりすることができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・身近な人々と交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・友達と楽しく活動を積み重ねることで、友達の考えを知ることができる。
D 関自律的資活動能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学校の内外の探検を通して学んだことを、今後の生活に生かそうすることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・学校内外の探検で出会ったひとつの・ことに触れて、面白さ、楽しさ、よさを感じ、さらに関わりあおうとする。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・学校の施設の様子や学校生活を支えている人や友だちのことがわかったことを喜び、前向きに過ごそうとする気持ちをもつことができる。

単元の指導

(全 18 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力				
					A	B	C	D	
情報・改善 収集	4	3	スタートブック	○学校のトイレ、靴箱、水道などの使い方や、給食の準備の仕方などを知る。 【道徳】よりよい学校生活、集団生活の充実「ようこそ、1ねんせい」 節度、節制「べんきょうがはじまりますよ」		好			
問題の 現状把握	4・5	1	がっこうをたんけんしよう	○教師に引率されて、学校の校舎内を見て歩き、校舎内の大体を知る。		好			
問題の 現状把握		1		○教師に引率されて、校庭の施設などを見て歩き、遊具の使い方や校庭での遊び方を知る。		好			
計画する 通しを持つ		1		○自分の名前を先生方に覚えてもらうために、自己紹介に使う名刺を作る。 【国語】どうぞよろしく		見	伝		
計画する 通しを持つ		1		○自己紹介の仕方や、職員室や教室に入室する練習をする。 【道徳】礼儀「あいさつ」 【国語】なんていおうかな こえのおおきさどうするの		見	伝		
実施・改善		1		○校長室や職員室、保健室、ことばの教室などを訪問し、先生方に自己紹介をして交流する。				伝	創
実施・改善		2		○2年生と一緒に、学校の校舎内を見て歩く。				他	
振り返り まとめ		1		○2年生と一緒にどんな教室があったか、どんな先生がいたかななどを話し合いながら活動を振り返る。 【道徳】感謝「がっこうにはね」			提		
実施・改善		1		○もう一度見に行きたい教室に自分たちで行き、詳しく観察してくる。 【国語】わけをはなそう			多	好	
振り返り まとめ		2		○探検で発見したことや気がついたこと、見つけた楽しいなどを話し合っカードに記録し、学校探検全体の活動を振り返る。			提	伝	
計画する 通しを持つ		1		○学校の周りにはどんなものがあるか(虫、花、木、公園、川)を考え、きまりや約束を確かめながら(信号、横断歩道など)探検の計画を立てる。。			見		
実施・改善	2	○学校の周りにの楽しいを見つけに行く。(「ちいきのきせつをかんじよう」の校舎外の探検に合わせて) ○教師に引率されて学校の周りを歩き、通学路の安全な歩き方を確かめる。			多				
振り返り まとめ	1	○探検で発見したことや気がついたこと、見つけた楽しいを話し合い、カードに記録する。			提	伝			